

DshGemMsgPro GEM メッセージ・エンコード/デコード

ソフトウェア・ライブラリ

API 関数説明書

(C, C++, .Net-Vb, C#)

Vol-2 / 3

3. API 関数 (続き)

S3Fx : S3F17, S3F23, S3F25, S3F27

S5Fx : S5F1, S5F3, S5F5

S6Fx : S6F1, S6F11, S6F15, S6F19

S7Fx : S7F1, S7F3, S7F5, S7F17, S7F19, S7F23, S7F25, S7F29

2013年9月

株式会社データマップ



[取り扱い注意]

- この資料ならびにソフトウェアの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本説明書に記述されている内容は予告なしで変更される可能性があります。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- ユーザーが本ソフトウェアの使用によって生じた遺失履歴、(株) データマップの予見の有無を問わず発生した特別損害、付随的損害、間接損害およびその他の拡大損害に対して責任を負いません。

【改訂履歴】

番号	改訂日付	項目	概略
1.	2013年9月	初版	

目次

[GEM-PRO 関連ドキュメント]	1
3. API 関数 (Vol-1 からの続き)	2
3. 2. 19 S3F17 メッセージ - キャリアアクション要求情報の送信	2
3. 2. 19. 1 DSH_EncodeS3F170 - S3F17 のエンコード	4
3. 2. 19. 2 DSH_DecodeS3F170 - S3F17 のデコード	7
3. 2. 19. 3 DSH_EncodeS3F180 - S3F18 のエンコード	9
3. 2. 19. 4 DSH_DecodeS3F180 - 受信した S3F18 のデコード	11
3. 2. 20 S3F23 メッセージ - ポートグループアクション要求情報の送信	12
3. 2. 20. 1 DSH_EncodeS3F230 - S3F23 のエンコード	14
3. 2. 20. 2 DSH_DecodeS3F230 - S3F23 のデコード	16
3. 2. 20. 3 DSH_EncodeS3F240 - S3F24 のエンコード	18
3. 2. 20. 4 DSH_DecodeS3F240 - 受信した S3F24 のデコード	20
3. 2. 21 S3F25 メッセージ - PORTポートアクション要求情報の送信	21
3. 2. 21. 1 DSH_EncodeS3F250 - S3F25 のエンコード	23
3. 2. 21. 2 DSH_DecodeS3F250 - S3F25 のデコード	25
3. 2. 21. 3 DSH_EncodeS3F260 - S3F26 のエンコード	27
3. 2. 21. 4 DSH_DecodeS3F260 - 受信した S3F26 のデコード	29
3. 2. 22 S3F27 メッセージ - PORTポートアドレス変更要求情報の送信	30
3. 2. 22. 1 DSH_EncodeS3F270 - S3F27 のエンコード	31
3. 2. 22. 2 DSH_DecodeS3F270 - S3F27 のデコード	33
3. 2. 22. 3 DSH_EncodeS3F280 - S3F28 のエンコード	35
3. 2. 22. 4 DSH_DecodeS3F280 - 受信した S3F28 のデコード	37
3. 2. 23 S5F1 メッセージ - アラーム情報通知	38
3. 2. 23. 1 DSH_EncodeS5F10 - S5F1 のエンコード	39
3. 2. 23. 2 DSH_DecodeS5F10 - S5F1 のデコード	41
3. 2. 23. 3 DSH_EncodeS5F20 - S5F2 のエンコード	43
3. 2. 23. 4 DSH_DecodeS5F20 - 受信した S5F2 のデコード	44
3. 2. 24 S5F3 メッセージ - アラーム報告/無効の送信	45
3. 2. 24. 1 DSH_EncodeS5F30 - S5F3 のエンコード	46
3. 2. 24. 2 DSH_DecodeS5F30 - S5F3 のデコード	48
3. 2. 24. 3 DSH_EncodeS5F40 - S5F4 のエンコード	50
3. 2. 24. 4 DSH_DecodeS5F40 - 受信した S5F4 のデコード	51
3. 2. 25 S5F5 メッセージ - アラーム (装置状態変数) 変数名リストの要求	52
3. 2. 25. 1 DSH_EncodeS5F50 - S5F5 のエンコード	53
3. 2. 25. 2 DSH_DecodeS5F50 - S5F5 のデコード	55
3. 2. 25. 3 DSH_EncodeS5F60 - S5F6 のエンコード	57
3. 2. 25. 4 DSH_DecodeS5F60 - S5F6 のデコード	60
3. 2. 26 S6F1 メッセージ - トレースデータの送信	62
3. 2. 26. 1 DSH_EncodeS6F10 - S6F1 のエンコード	63
3. 2. 26. 2 DSH_DecodeS6F10 - S6F1 のデコード	66
3. 2. 26. 3 DSH_EncodeS6F20 - S6F2 のエンコード	68
3. 2. 26. 4 DSH_DecodeS6F20 - 受信した S6F2 のデコード	69
3. 2. 27 S6F11 メッセージ - イベントレポートの送信	70
3. 2. 27. 1 DSH_EncodeS6F110 - S6F11 のエンコード	72
3. 2. 27. 2 DSH_DecodeS6F110 - S6F11 のデコード	75
3. 2. 27. 3 DSH_EncodeS6F120 - S6F12 のエンコード	77

3. 2. 27. 4	DSH_DecodeS6F120	- 受信した S6F12 のデコード	78
3. 2. 28	S6F15	メッセージ - イベントレポートの送信要求	79
3. 2. 28. 1	DSH_EncodeS6F150	- S6F15 のエンコード	81
3. 2. 28. 2	DSH_DecodeS6F150	- S6F15 のデコード	83
3. 2. 28. 3	DSH_EncodeS6F160	- S6F16 のエンコード	85
3. 2. 28. 4	DSH_DecodeS6F160	- S6F16 のデコード	88
3. 2. 29	S6F19	メッセージ - 個別レポートの送信	90
3. 2. 29. 1	DSH_EncodeS6F190	- S6F19 のエンコード	91
3. 2. 29. 2	DSH_DecodeS6F190	- S6F19 のデコード	93
3. 2. 29. 3	DSH_EncodeS6F200	- S6F20 のエンコード	95
3. 2. 29. 4	DSH_DecodeS6F200	- S6F20 のデコード	98
3. 2. 30	S6F23	メッセージ - スプールデータ要求の送信	100
3. 2. 30. 1	DSH_EncodeS6F230	- S6F23 のエンコード	101
3. 2. 30. 2	DSH_DecodeS6F230	- S6F23 のデコード	103
3. 2. 30. 3	DSH_EncodeS6F240	- S6F24 のエンコード	105
3. 2. 30. 4	DSH_DecodeS6F240	- S6F24 のデコード	107
3. 2. 31	S7F1	メッセージ - プロセスプログラム・ロード問合せ	109
3. 2. 31. 1	DSH_EncodeS7F10	- S7F1 のエンコード	110
3. 2. 31. 2	DSH_DecodeS7F10	- S7F1 のデコード	112
3. 2. 31. 3	DSH_EncodeS7F20	- S7F2 のエンコード	114
3. 2. 31. 4	DSH_DecodeS7F20	- S7F2 のデコード	116
3. 2. 32	S7F3	メッセージ - PP プロセスプログラム送信	118
3. 2. 32. 1	DSH_EncodeS7F30	- S7F3 のエンコード	119
3. 2. 32. 2	DSH_DecodeS7F30	- S7F3 のデコード	121
3. 2. 32. 3	DSH_EncodeS7F40	- S7F4 のエンコード	123
3. 2. 32. 4	DSH_DecodeS7F40	- S7F4 のデコード	125
3. 2. 33	S7F5	メッセージ - プロセスプログラム送信	127
3. 2. 33. 1	DSH_EncodeS7F50	- S7F5 のエンコード	128
3. 2. 33. 2	DSH_DecodeS7F50	- S7F5 のデコード	130
3. 2. 33. 3	DSH_EncodeS7F60	- S7F6 のエンコード	132
3. 2. 33. 4	DSH_DecodeS7F60	- S7F6 のデコード	134
3. 2. 34	S7F17	メッセージ - プロセスプログラム削除支持	136
3. 2. 34. 1	DSH_EncodeS7F170	- S7F17 のエンコード	137
3. 2. 34. 2	DSH_DecodeS7F170	- S7F17 のデコード	139
3. 2. 34. 3	DSH_EncodeS7F180	- S7F18 のエンコード	141
3. 2. 34. 4	DSH_DecodeS7F180	- S7F18 のデコード	142
3. 2. 35	S7F19	メッセージ - 現在のプロセスプログラム要求	143
3. 2. 35. 1	DSH_EncodeS7F190	- S7F19 のエンコード	144
3. 2. 35. 2	DSH_DecodeS7F190	- S7F19 のデコード	145
3. 2. 35. 3	DSH_EncodeS7F200	- S7F20 のエンコード	146
3. 2. 35. 4	DSH_DecodeS7F200	- S7F20 のデコード	148
3. 2. 36	S7F23	メッセージ - FPP 書式付プロセスプログラム送信	149
3. 2. 36. 1	DSH_EncodeS7F230	- S7F23 のエンコード	151
3. 2. 36. 2	DSH_DecodeS7F230	- S7F23 のデコード	154
3. 2. 36. 3	DSH_EncodeS7F240	- S7F24 のエンコード	156
3. 2. 36. 4	DSH_DecodeS7F240	- S7F24 のデコード	158
3. 2. 37	S7F25	メッセージ - 書式付プロセスプログラム送信	159
3. 2. 37. 1	DSH_EncodeS7F250	- S7F25 のエンコード	161

3. 2. 37. 2	DSH_DecodeS7F250	— S7F25 のデコード	163
3. 2. 37. 3	DSH_EncodeS7F260	— S7F26 のエンコード	165
3. 2. 37. 4	DSH_DecodeS7F260	— S7F26 のデコード	168
3. 2. 38	S7F29 メッセージ	— プロセスプログラム妥当性の問合せ	170
3. 2. 38. 1	DSH_EncodeS7F290	— S7F29 のエンコード	171
3. 2. 38. 2	DSH_DecodeS7F290	— S7F29 のデコード	173
3. 2. 38. 3	DSH_EncodeS7F300	— S7F30 のエンコード	175
3. 2. 38. 4	DSH_DecodeS7F300	— S7F30 のデコード	177

[GEM-PRO 関連ドキュメント]

GEM-PRO ドキュメント一覧表

	文書番号	タイトル名と内容
1	DshGemMsgPro-13-30321-00 Vol-1	DshGemMsgPro GEMメッセージ・エンコード/デコード API 関数説明書 1. 概要 2. 機能概略 3. API 関数 3.1 GEM-PRO 初期化関数とバージョン取得関数 3.2 S1Fx, S2Fx メッセージエンコード・デコード関数
	DshGemMsgPro-13-30322-00 Vol-2	(3.2) S3Fx, S5Fx, S6Fx, S7Fx
	DshGemMsgPro-13-30323-00 Vol-3	(3.2) S10Fx, S14Fx, S15Fx, S16Fx
2	DshGemMsgPro-13-30331-00 Vol-1	DshGemMsgPro GEMメッセージ・エンコード/デコード LIB 関数説明書 ・変数(EC、SV、DVVAL) 関連 ・レポート、収集イベント(CE) 関連 ・アラム関連 ・プロセス・プログラム(PP、FPP) 関連 ・レシト 関連 ・プロセス・ジョブ 関連 ・コントロール・ジョブ 関連
	DshGemMsgPro-13-30332-00 Vol-2	・リモートコントロール、拡張リモートコントロール 関連 ・キャリアアクション、ポート制御 関連 ・端末表示 関連 ・スプール 関連 ・その他の汎用関数
3	DshGemMsgPro-13-30320-00	DshGemMsgPro GEMメッセージ・エンコード/デコード 定数、構造体説明書
4	DshGemMsgPro-13-30381-00	DshGemMsgPro GEMメッセージ・エンコード/デコード テモプログラム説明書

GEM-PRO に関する概要、機能については、”GEM-PRO API 関数説明書-VOL-1 “の1, 2章をを参照してください。

3. API 関数 (Vol-1 からの続き)

3. 2. 19 S3F17 メッセージ – キャリアアクション要求情報の送信

(1) 下表に示す 4 種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS3F17()	S3F17 をエンコードします。	キャリアアクション要求情報をエンコードします。
2	DSH_DecodeS3F17()	S3F17 をデコードします。	キャリアアクション要求情報にデコードします。
3	DSH_EncodeS3F18()	S3F18 のメッセージをエンコードします。	応答情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS3F18()	S3F18 のメッセージをデコードします。	応答情報を取得します。

(2) S3F17 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは構造体 TCACT_INFO を使って行います。

①キャリアアクション要求とパラメータを保存する構造体

```
typedef struct {
    TDATAID    dataid;
    char       *caction;           // cact
    int        action_index;
    char       *carspec;           // carrier spec ( carid )
    int        ptm;                // port no.
    int        cp_count;           // parameter count
    TCACT_PARA **cp_list;         // paramete list
} TCACT_INFO;
```

②キャリアアクション要求情報構造体を含む 1 個のパラメータ情報を保存する構造体

```
typedef struct {
    char       *cattrid;           // cattrid
    int        attr_index;
    void       *cattrdata;        // cattrdata
} TCACT_PARA;
```

③キャリア・コンテンツ情報を保存する構造体 (属性 ID が "ContentMap" のケースで使用する)

```
typedef struct {
    int        count;
    char       **lotid;           // lotid
    char       **substid;        // substrate id
} TCACT_CONTENT;
```

(3) TCACT_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTCACT_INFO	TCACT_INFO を初期設定する。
2	DshPutTCACT_INFO	TCACT_INFO に 1 個のパラメータを加える。
3	DshMakeTCACT_PARA	1 個の属性情報の設定とパラメータ設定の準備をする。
4	DshPutTCACT_CONTENT	“ContentMap” 属性のパラメータ情報を設定する。
5	DshFreeTCACT_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

(4) S3F18 のユーザインタフェース情報

応答情報を TCACT_ERR_INFO 構造体を使用します。

①S3F18 に設定する応答情報を格納するための構造体です。

```
typedef struct{
    int      caack;
    int      err_count;
    TERR_INFO **err_list;
} TCACT_ERR_INFO;
```

②エラーパラメータ情報を 1 個分格納するための構造体です。(エラーコードとエラーテキスト)

```
typedef struct{
    int      errcode;
    char     *errtext;
} TERR_INFO;
```

(5) TCACT_ERR_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

番号	関数名	機能
1	DshInitTCACT_ERR_INFO	TCACT_ERR_INFO を初期設定する。
2	DshPutTCACT_ERR_INFO	TCACT_ERR_INFO に 1 個のパラメータを加える。
3	DshFreeTCACT_ERR_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 19. 1 DSH_EncodeS3F17() - S3F17 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS3F17(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TCACT_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS3F17(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TCACT_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS3F17(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TCACT_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S3F17 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : キャリアクション要求情報を格納するための構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S3F17 メッセージを作成します。

info で指定された構造体 TCACT_INFO 内に含まれるキャリアアクション要求情報を S3F17 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。

もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int    ei, i;
BYTE  buff[1024];
int    msg_len;
TCACT_INFO info;
TCACT_PARA pinfo;
char  lotid_tab [25][32];
char  substidtab_tab [25][32];
for ( i=0; i < 25; i++ ){
    sprintf_s( &lotid_tab[i][0], 32, "LOTID-%02d", i );
    sprintf_s( &substidtab_tab[i][0], 32, "SUBSTID-%02d", i );
}

DshInitTCACT_INFO( &info, CA_ProceedWithCarrier, CARID, PORTID, ATR_COUNT );
DshMakeTCACT_PARA( &pinfo, CA_ContentMap, (void*)MAX_SLOT );

for ( i=0; i < MAX_SLOT; i++ ){
    DshPutTCACT_CONTENT( &pinfo, i, lotid_tab[i], substidtab[i] );
}
DshPutTCACT_INFO( &info, &pinfo );

ei = DSH_EncodeS3F17( buff, 1024, &info, &msg_len );           // encode
.
.
DshFreeTCACT_PARA( &pinfo );
DshFreeTCACT_INFO( &info );
```

(注) CA_ProceedWithCarrier は、アクション名であり、DshGemProInf.h で定義されています。

②c#

```
string CARID      = "CAR100";
int    PORTID     = 1;
int    ATR_COUNT  = 1;

int    MAX_SLOT   = 25;
IntPtr MAX_SLOT_PTR = new IntPtr(25);

string[] lotid_tab = new string[MAX_SLOT];
string[] substidtab = new string[MAX_SLOT];

int ei;
int msg_len = 0;
TCACT_INFO info = new TCACT_INFO();
TCACT_PARA pinfo = new TCACT_PARA();

IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1024);
```

```
for ( int i=0; i < 25; i++ ){
    lotid_tab[i]   = "LOTID-" + i.ToString();
    substid_tab[i] = "SUBSTID-"+ i.ToString();
}

DshInitTCACT_INFO(ref info, CA_ProceedWithCarrier, CARID, PORTID, ATR_COUNT); •

DshMakeTCACT_PARA(ref pinfo, CA_ContentMap, MAX_SLOT_PTR);
for (int i = 0; i < MAX_SLOT; i++)
{
    DshPutTCACT_CONTENT(ref pinfo, i, lotid_tab[i], substid_tab[i]);
}
DshPutTCACT_INFO(ref info, ref pinfo);
DshFreeTCACT_PARA( ref pinfo);

ei =DSH_EncodeS3F17(buff, 1024, ref info, ref msg_len);          // encode S3F17
.
.

Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
DshFreeTCACT_INFO(ref info);
```

(注) CA_ProceedWithCarrier は、アクション名であり、DshGemProInf.cs で定義されています。

3. 2. 19. 2 DSH_DecodeS3F17() - S3F17 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS3F17(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TCACT_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS3F17(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TCACT_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS3F17(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TCACT_INFO info
);
```

(2) 引数

buffer : S3F17 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S3F17 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : キャリアアクション要求情報を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S3F17 メッセージのデコードを行います。
デコード結果のキャリアアクション要求情報は、info 構造体に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buff[2000]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。  
(S3F17 受信)
```

```
int msg_len = 195; // 受信した S3F17 メッセージのバイトサイズ
```

```
TCACT_INFO info;  
int ei;  
ei = DSH_DecodeS3F17( buff, msg_len, &info );  
. .  
DshFreeTCACT_INFO( &info );
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);  
(S3F17 受信)
```

```
int msg_len = 195; // 受信した S3F17 メッセージのバイトサイズ
```

```
TCACT_INFO info = new TCACT_INFO();  
int ei = DSH_DecodeS3F17( buff, msg_len, ref info );  
. .  
DshFreeTCACT_INFO( ref info );  
Marshal. FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 19. 3 DSH_EncodeS3F18() - S3F18 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX EncodeS3F18(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TCACT_ERR_INFO *erinfo,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function EncodeS3F18(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef erinfo As TCACT_ERR_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int EncodeS3F18(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TCACT_ERR_INFO erinfo,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S3F18 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

erinfo : S3F18 の応答情報が保存されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに、erinfo に含まれる S3F18 応答情報をエンコードします。
作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

① C/C++

```
int    CAACK = 0;
int    ERR_CODE = 3;
char*  ERR_TEXT = "ERROR-100";

int    ei;

BYTE   buff[1000];
int     msg_len;
TCACT_INFO  info;
TCACT_ERR_INFO  erinfo;

DshInitTCACT_ERR_INFO( &erinfo, CAACK, 1 );
DshPutTCACT_ERR_INFO( &erinfo, 0, ERR_CODE, ERR_TEXT );
ei = DSH_EncodeS3F18(buff, 1000, &erinfo, &msg_len );
.
.
DshFreeTCACT_ERR_INFO( &erinfo );
```

② C#

```
int    ERR_CODE = 3;
string ERR_TEXT = "ERROR-100";

int ei;
int msg_len = 0;
int ack = 1;

TCACT_ERR_INFO erinfo = new TCACT_ERR_INFO();

IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1000);
comm_lib.set_dshmsg(ref rmsg, 3, 18, 0, buff, 1000);

DshInitTCACT_ERR_INFO(ref erinfo, ack, 1);
DshPutTCACT_ERR_INFO(ref erinfo, 0, ERR_CODE, ERR_TEXT);

DSH_EncodeS3F18(buff, 1000, ref erinfo, ref msg_len);    // encode S3F17
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
DshFreeTCACT_ERR_INFO(ref erinfo);
```

3. 2. 19. 4 DSH_DecodeS3F18 () – 受信した S3F18 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS3F18 (
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TCACT_ERR_INFO *erinfo
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS3F18 (
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef erinfo As TCACT_ERR_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS3F18 (
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TCACT_ERR_INFO erinfo
);
```

(2) 引数

buffer : S3F18 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S3F18 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

erinfo : S3F18 の応答情報を保存する構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	メッセージ形式が正しくなかった。(リスト構造の違い、データフォーマットの違いなど)

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S3F18 メッセージのデコードを行い、得られた情報を erinfo 構造体にセットします。

正常にデコードできた場合は、0 を返却します。また、メッセージフォーマットが SEMI 仕様に合致しなかった場合は、(-1) が返却されます。

3. 2. 20 S3F23 メッセージ – ポートグループアクション要求情報の送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS3F23()	S3F23 をエンコードします。	ポートグループアクション要求情報をエンコードします。
2	DSH_DecodeS3F23()	S3F23 をデコードします。	ポートグループアクション要求情報にデコードします。
3	DSH_EncodeS3F24()	S3F24 のメッセージをエンコードします。	応答情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS3F24()	S3F24 のメッセージをデコードします。	応答情報を取得します。

(2) S3F23 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは構造体 TPORTG_INFO を使って行います。

①ポートグループアクション要求とパラメータを保存する構造体

```
typedef struct {
    char      *portgrpaction;    // group action
    char      *portgrpname;     // port group name
    int       pn_count;         // parameter count
    TPORTG_PARA **pn_list;      // paramete list
} TPORTG_INFO;
```

②ポートグループアクション要求に含む1個のパラメータ情報を保存する構造体

```
typedef struct {
    char      *paramname;       // paramname
    int       pval_fmt;         // paramval item fmt
    int       pval_size;        // paramval data array size
    void      *paramval;        // paramval data
} TPORTG_PARA;
```

(3) TPORTG_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTPORTG_INFO	TPORTG_INFO を初期設定する。
2	DshPutTPORTG_INFO	TPORTG_INFO に1個のパラメータを加える。
3	DshFreeTPORTG_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

(4) S3F24 のユーザインタフェース情報

応答情報を TCACT_ERR_INFO 構造体を使用します。

①S3F24 に設定する応答情報を格納するための構造体です。

```
typedef struct{
    int      caack;
    int      err_count;
    TERR_INFO **err_list;
} TCACT_ERR_INFO;
```

②エラーパラメータ情報を 1 個分格納するための構造体です。(エラーコードとエラーテキスト)

```
typedef struct{
    int      errcode;
    char     *errtext;
} TERR_INFO;
```

(5) TCACT_ERR_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

番号	関数名	機能
1	DshInit TCACT_ERR_INFO	TCACT_ERR_INFO を初期設定する。
2	DshPut TCACT_ERR_INFO	TCACT_ERR_INFO 1 個のパラメータを加える。
3	DshFree TCACT_ERR_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 20. 1 DSH_EncodeS3F23() — S3F23 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS3F23(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TPORTG_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS3F23(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TPORTG_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS3F23(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TPORTG_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S3F23 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : ポートグループアクション要求情報を格納するための構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S3F23 メッセージを作成します。

info で指定された構造体 TPORTG_INFO 内に含まれるポートグループアクション要求情報を S3F23 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。

もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
char* ACTION = "ReserveAtPort";
char* PGROUP = "Group-1";
int PARA_COUNT = 1;
char* PARA_NAME= "PARA1";
char* PARA_VAL = "PVAL100";
int ei;
BYTE buff[1000];
int msg_len;
TPORTG_INFO info;
```

```
DshInitTPORTG_INFO( &info, ACTION, PGROUP, PARA_COUNT );
DshPutTPORTG_INFO( &info, PARA_NAME, ICODE_A, strlen(PARA_VAL), PARA_VAL );
```

```
ei = DSH_EncodeS3F23( buff, SND_BUFF_SIZE, &info, &msg_len ); // encode
```

```
.
.
```

```
DshFreeTPORTG_INFO( &info );
```

②c#

```
string ACTION = "ReserveAtPort";
string PGROUP = "Group-1";
```

```
int PARA_COUNT = 1;
```

```
string PARA_NAME = "PARA1";
string PARA_VAL = "PVAL100";
```

```
int ei;
int msg_len = 0;
TPORTG_INFO info = new TPORTG_INFO();
```

```
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(BUFF_SIZE);
```

```
DshInitTPORTG_INFO(ref info, ACTION, PGROUP, PARA_COUNT); //
```

```
DshPutTPORTG_INFO(ref info, PARA_NAME, ICODE_A, DshStrLen(PARA_VAL), PARA_VAL);
```

```
ei = DSH_EncodeS3F23(buff, BUFF_SIZE, ref info, ref msg_len); // encode S3F23
```

```
.
.
```

```
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
DshFreeTPORTG_INFO(ref info);
```

3. 2. 20. 2 DSH_DecodeS3F23() - S3F23 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS3F23(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TPORTG_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS3F23(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TPORTG_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS3F23(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TPORTG_INFO info
);
```

(2) 引数

buffer : S3F23 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S3F23 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : ポートグループアクション要求情報を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S3F23 メッセージのデコードを行います。
デコード結果のポートグループアクション要求情報は、info 構造体に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buff[2000];          // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。  
(S3F23 受信)
```

```
int msg_len = 205;       // 受信した S3F23 メッセージのバイトサイズ
```

```
TPORTG_INFO info;  
int ei;
```

```
ei = DSH_DecodeS3F23( buff, msg_len, &info );
```

```
.  
.
```

```
DshFreeTPORTG_INFO( &info );
```

②c#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);  
(S3F23 受信)
```

```
int msg_len = 205;       // 受信した S3F23 メッセージのバイトサイズ  
TPORTG_INFO info = new TPORTG_INFO();
```

```
int ei = DSH_DecodeS3F23( buff, msg_len, ref info );
```

```
.  
.
```

```
DshFreeTPORTG_INFO( ref info );
```

```
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 20. 3 DSH_EncodeS3F24() - S3F24 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX EncodeS3F24(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TCACT_ERR_INFO *erinfo,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function EncodeS3F24(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef erinfo As TCACT_ERR_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int EncodeS3F24(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TCACT_ERR_INFO erinfo,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S3F24 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

erinfo : S3F24 の応答情報が保存されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに、erinfo に含まれる S3F24 応答情報をエンコードします。
作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

① C/C++

```
BYTE CAACK = 0;
int ERR_CODE = 3;
char* ERR_TEXT = "ERROR-100";

int ei;
BYTE buff[1000];
int msg_len;
TPORTG_INFO info;
TCACT_ERR_INFO erinfo;

DshInitTCACT_ERR_INFO( &erinfo, CAACK, 1 );
DshPutTCACT_ERR_INFO( &erinfo, 0, ERR_CODE, ERR_TEXT );

ei = DSH_EncodeS3F24(buff, 1000, &erinfo, &msg_len );

DshFreeTCACT_ERR_INFO( &erinfo );
```

② C#

```
int CAACK = 0;
int CANAK = 1;
int ERR_CODE = 3;
string ERR_TEXT = "ERROR-100";

int ei;
int msg_len = 0;
int ack = CAACK;
TPORTG_INFO info = new TPORTG_INFO();

TCACT_ERR_INFO erinfo = new TCACT_ERR_INFO();

IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(BUFF_SIZE);

DshInitTCACT_ERR_INFO(ref erinfo, ack, 1);
DshPutTCACT_ERR_INFO(ref erinfo, 0, ERR_CODE, ERR_TEXT);

DSH_EncodeS3F24(buff, 1000, ref erinfo, ref msg_len); // encode S3F23
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
DshFreeTCACT_ERR_INFO(ref erinfo);
```

3. 2. 20. 4 DSH_DecodeS3F24 () – 受信した S3F24 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS3F24 (
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TCACT_ERR_INFO *erinfo
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS3F24 (
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef erinfo As TCACT_ERR_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS3F24 (
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TCACT_ERR_INFO erinfo
);
```

(2) 引数

buffer : S3F24 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S3F24 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

erinfo : S3F24 の応答情報を保存する構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	メッセージ形式が正しくなかった。(リスト構造の違い、データアイテムの違いなど)

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S3F24 メッセージのデコードを行い、得られた情報を erinfo 構造体にセットします。

正常にデコードできた場合は、0 を返却します。また、メッセージフォーマットが SEMI 仕様に合致しなかった場合は、(-1) が返却されます。

3. 2. 21 S3F25 メッセージ – PORT ポートアクション要求情報の送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS3F25()	S3F25 をエンコードします。	ポートアクション要求情報をエンコードします。
2	DSH_DecodeS3F25()	S3F25 をデコードします。	ポートアクション要求情報にデコードします。
3	DSH_EncodeS3F26()	S3F26 のメッセージをエンコードします。	応答情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS3F26()	S3F26 のメッセージをデコードします。	応答情報を取得します。

(2) S3F25 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは構造体 TPORT_INFO を使って行います。

①ポートアクション要求に含む1個のパラメータ情報を保存する構造体

```
typedef struct {
    char        *paramname;    // paramname
    int         pval_fmt;      // paramval item fmt
    int         pval_size;     // paramval data array size
    void        *paramval;     // paramval data
} TPORT_PARA;
```

②ポートアクション要求とパラメータを保存する構造体

```
typedef struct {
    char        *portaction;    // port action
    int         ptn;
    int         pn_count;      // parameter count
    TPORT_PARA **pn_list;     // paramete list
} TPORT_INFO;
```

(3) TPORT_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTPORT_INFO	TPORT_INFO を初期設定する。
2	DshPutTPORT_INFO	TPORT_INFO に1個のパラメータを加える。
3	DshFreeTPORT_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

(4) S3F26 のユーザインタフェース情報

応答情報を TCACT_ERR_INFO 構造体を使用します。

①エラーパラメタ情報を 1 個分格納するための構造体です。(エラーコードとエラーテキスト)

```
typedef struct{
    int    errcode;
    char   *errtext;
} TERR_INFO;
```

②S3F26 に設定する応答情報を格納するための構造体です。

```
typedef struct{
    int    caack;
    int    err_count;
    TERR_INFO **err_list;
} TCACT_ERR_INFO;
```

(5) TCACT_ERR_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

番号	関数名	機能
1	DshInit TCACT_ERR_INFO	TCACT_ERR_INFO を初期設定する。
2	DshPut TCACT_ERR_INFO	TCACT_ERR_INFO 1 個のパラメタを加える。
3	DshFree TCACT_ERR_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 21. 1 DSH_EncodeS3F25() - S3F25 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS3F25(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TPORT_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS3F25(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TPORT_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS3F25(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TPORT_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S3F25 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : PORT ポートアクション要求情報を格納するための構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S3F25 メッセージを作成します。

info で指定された構造体 TPORT_INFO 内に含まれる PORT ポートアクション要求情報を S3F25 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。

もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
char* ACTION = "ReserveAtPort";
int PORTNO = 1;
int PARA_COUNT = 1;
char* PARA_NAME = "PARA1";
char* PARA_VAL = "PVAL100";
int ei;
BYTE buff[1000];
int msg_len;
TPORT_INFO info;
```

```
DshInitTPORT_INFO( &info, ACTION, PORTNO, PARA_COUNT );
DshPutTPORT_INFO( &info, PARA_NAME, ICODE_A, strlen(PARA_VAL), PARA_VAL );
```

```
ei = DSH_EncodeS3F25( buff, SND_BUFF_SIZE, &info, &msg_len ); // encode
```

.
.

```
DshFreeTPORT_INFO( &info );
```

②c#

```
string ACTION = "ReserveAtPort";
int PORTNO = 1;
```

```
int PARA_COUNT = 1;
```

```
string PARA_NAME = "PARA1";
string PARA_VAL = "PVAL100";
```

```
int ei;
int msg_len = 0;
TPORT_INFO info = new TPORT_INFO();
```

```
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(BUFF_SIZE);
```

```
DshInitTPORT_INFO(ref info, ACTION, PORTNO, PARA_COUNT); //
```

```
DshPutTPORT_INFO(ref info, PARA_NAME, ICODE_A, DshStrLen(PARA_VAL), PARA_VAL);
```

```
ei = DSH_EncodeS3F25(buff, BUFF_SIZE, ref info, ref msg_len); // encode S3F25
```

.
.

```
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
DshFreeTPORT_INFO(ref info);
```

3. 2. 21. 2 DSH_DecodeS3F25() - S3F25 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS3F25(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TPORT_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS3F25(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TPORT_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS3F25(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TPORT_INFO info
);
```

(2) 引数

buffer : S3F25 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S3F25 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : ポートアクション要求情報を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S3F25 メッセージのデコードを行います。
デコード結果の PORT ポートアクション要求情報は、info 構造体に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buff[2100];          // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
                          (S3F25 受信)
int msg_len = 215;       // 受信した S3F25 メッセージのバイトサイズ

TPORT_INFO info;
int ei;

ei = DSH_DecodeS3F25( buff, msg_len, &info );
.
.
DshFreeTPORT_INFO( &info );
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2100);
                          (S3F25 受信)
int msg_len = 215;       // 受信した S3F25 メッセージのバイトサイズ
TPORT_INFO info = new TPORT_INFO();

int ei = DSH_DecodeS3F25( buff, msg_len, ref info );
.
.
DshFreeTPORT_INFO( ref info );
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 21. 3 DSH_EncodeS3F26() - S3F26 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX EncodeS3F26(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TCACT_ERR_INFO *erinfo,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function EncodeS3F26(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef erinfo As TCACT_ERR_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int EncodeS3F26(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TCACT_ERR_INFO erinfo,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S3F26 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

erinfo : S3F26 の応答情報が保存されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに、erinfo に含まれる S3F26 応答情報をエンコードします。
作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

① C/C++

```
BYTE CAACK = 0;
int ERR_CODE = 3;
char* ERR_TEXT = "ERROR-100";

int ei;
BYTE buff[1000];
int msg_len;
TPORT_INFO info;
TCACT_ERR_INFO erinfo;

DshInitTCACT_ERR_INFO( &erinfo, CAACK, 1 );
DshPutTCACT_ERR_INFO( &erinfo, 0, ERR_CODE, ERR_TEXT );

ei = DSH_EncodeS3F26(buff, 1000, &erinfo, &msg_len );

DshFreeTCACT_ERR_INFO( &erinfo );
```

② C#

```
int CAACK = 0;
int CANAK = 1;
int ERR_CODE = 3;
string ERR_TEXT = "ERROR-100";

int ei;
int msg_len = 0;
int ack = CAACK;
TPORT_INFO info = new TPORT_INFO();

TCACT_ERR_INFO erinfo = new TCACT_ERR_INFO();

IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(BUFF_SIZE);

DshInitTCACT_ERR_INFO(ref erinfo, ack, 1);
DshPutTCACT_ERR_INFO(ref erinfo, 0, ERR_CODE, ERR_TEXT);

DSH_EncodeS3F26(buff, 1000, ref erinfo, ref msg_len); // encode S3F25
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
DshFreeTCACT_ERR_INFO(ref erinfo);
```

3. 2. 21. 4 DSH_DecodeS3F26 () – 受信した S3F26 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS3F26 (
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TCACT_ERR_INFO *erinfo
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS3F26 (
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef erinfo As TCACT_ERR_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS3F26 (
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TCACT_ERR_INFO erinfo
);
```

(2) 引数

buffer : S3F26 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S3F26 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

erinfo : S3F26 の応答情報を保存する構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	メッセージ形式が正しくなかった。(リスト構造の違い、データアイテムの違いなど)

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S3F26 メッセージのデコードを行い、得られた情報を erinfo 構造体にセットします。

正常にデコードできた場合は、0 を返却します。また、メッセージフォーマットが SEMI 仕様に合致しなかった場合は、(-1) が返却されます。

3. 2. 22 S3F27 メッセージ – PORTポートアクセス変更要求情報の送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS3F27()	S3F27 をエンコードします。	ポートアクセス変更要求情報をエンコードします。
2	DSH_DecodeS3F27()	S3F27 をデコードします。	ポートアクセス変更要求情報にデコードします。
3	DSH_EncodeS3F28()	S3F28 のメッセージをエンコードします。	応答情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS3F28()	S3F28 のメッセージをデコードします。	応答情報を取得します。

(2) S3F27 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは構造体 TACCESS_INFO を使って行います。

①Tポートアクセス変更要求情報を保存する構造体

```
typedef struct {
    int      accessmode;      // access mode 0/1
    int      port_count;      // no. of port
    int      *port_list;      // port no. list
}TACCESS_INFO;
```

(3) TACCESS_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTACCESS_INFO	TACCESS_INFO を初期設定する。
2	DshPutTACCESS_INFO	TACCESS_INFO に1個のポートを加える。
3	DshFreeTACCESS_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

(4) S3F28 のユーザインタフェース情報

応答情報を TACCESS_ERR_INFO 構造体を使用します。

①S3F28 情報を格納するための構造体です。(ポート、エラーコードとエラーテキスト)

```
typedef struct {
    int      port;            // port no.
    int      errcode;        // ok/ng - port
    char     *errtext;       // error text - port
}TACCESS_ERR_PORT;
```

(5) TACCESS_ERR_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

番号	関数名	機能
1	DshInit TACCESS_ERR_INFO_Ext	TACCESS_ERR_INFO を初期設定する。
2	DshPut TACCESS_ERR_INFO_Ext	TACCESS_ERR_INFO 1個のポートを加える。
3	DshFree TACCESS_ERR_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 22. 1 DSH_EncodeS3F27 () – S3F27 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS3F27(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TACCESS_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS3F27(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TACCESS_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS3F27(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TACCESS_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S3F27 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : ポートアクセス変更要求情報を格納するための構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S3F27 メッセージを作成します。

info で指定された構造体 TACCESS_INFO 内に含まれるポートアクセス変更要求情報を S3F27 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。

もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int    MODE    = 1;
int    PTID_1  = 1;
int    PTID_2  = 2;
int    PORT_COUNT = 2;
```

```
int    ei;
BYTE   buff[1000];
int    msg_len;
TACCESS_INFO info;
```

```
DshInitTACCESS_INFO( &info, MODE, PORT_COUNT );
DshPutTACCESS_INFO( &info, PTID_1 );
DshPutTACCESS_INFO( &info, PTID_2 );
```

```
ei = DSH_EncodeS3F27( buff, SND_BUFF_SIZE, &info, &msg_len );    // encode
.
.
DshFreeTACCESS_INFO( &info );
```

②c#

```
int MODE = 1;
int PTID_1 = 1;
int PTID_2 = 2;
```

```
int PORT_COUNT = 2;
```

```
int ei;
int msg_len = 0;
TACCESS_INFO info = new TACCESS_INFO();
```

```
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1000);
```

```
DshInitTACCESS_INFO(ref info, MODE, PORT_COUNT);
```

```
DshPutTACCESS_INFO(ref info, PTID_1);
DshPutTACCESS_INFO(ref info, PTID_2);
```

```
ei = DSH_EncodeS3F27(buff, 1000, ref info, ref msg_len); // encode S3F27
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
DshFreeTACCESS_INFO(ref info);
```

3. 2. 22. 2 DSH_DecodeS3F27 () – S3F27 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS3F27(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TACCESS_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS3F27(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TACCESS_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS3F27(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TACCESS_INFO info
);
```

(2) 引数

buffer : S3F27 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S3F27 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : ポートアクセス変更要求情報を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S3F27 メッセージのデコードを行います。
デコード結果の PORT ポートアクセス変更要求情報は、info 構造体に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buff[2000]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S3F27 受信)
int msg_len = 23; // 受信した S3F27 メッセージのバイトサイズ

TACCESS_INFO info;
int ei;

ei = DSH_DecodeS3F27( buff, msg_len, &info );
.
.
DshFreeTACCESS_INFO( &info );
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S3F27 受信)
int msg_len = 23; // 受信した S3F27 メッセージのバイトサイズ
TACCESS_INFO info = new TACCESS_INFO();

int ei = DSH_DecodeS3F27( buff, msg_len, ref info );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
DshFreeTACCESS_INFO( ref info );
```

3. 2. 22. 3 DSH_EncodeS3F28() — S3F28 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX EncodeS3F28(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TACCESS_ERR_INFO *erinfo,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function EncodeS3F28(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef erinfo As TACCESS_ERR_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int EncodeS3F28(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TACCESS_ERR_INFO erinfo,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S3F28 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

erinfo : S3F28 の応答情報が保存されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに、erinfo に含まれる S3F28 応答情報をエンコードします。
作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

① C/C++

```
int CAACK = 1;
int ERR_CODE1 = 3;
char* ERR_TEXT1 = "ERROR-100";

int ei;
DSHMSG *rmsg;
BYTE buff[1000];
int msg_len;

TACCESS_ERR_INFO erinfo;

DshInitTACCESS_ERR_INFO_Ext( &erinfo, CAACK, 1 );
DshPutTACCESS_ERR_INFO_Ext( &erinfo, PTID_1, ERR_CODE1, ERR_TEXT1 );

ei = DSH_EncodeS3F28(buff, 1000, &erinfo, &msg_len );
.
.
DshFreeTACCESS_ERR_INFO( &erinfo );
```

② C#

```
int CAACK = 0;
int CANAK = 1;
int ERR_CODE = 3;
string ERR_TEXT = "ERROR-100";

int ei;
int msg_len = 0;
int ack;
ack = CANAK;

TACCESS_ERR_INFO erinfo = new TACCESS_ERR_INFO();

IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1000);

DshInitTACCESS_ERR_INFO(ref erinfo, ref info, ack, 1);
DshPutTACCESS_ERR_INFO_Ext(ref erinfo, PTID_1, ERR_CODE, ERR_TEXT);

DSH_EncodeS3F28(buff, 1000, ref erinfo, ref msg_len); // encode S3F27
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
DshFreeTACCESS_ERR_INFO(ref erinfo);
```

3. 2. 22. 4 DSH_DecodeS3F28 () – 受信した S3F28 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS3F28 (
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TACCESS_ERR_INFO *erinfo
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS3F28 (
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef erinfo As TACCESS_ERR_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS3F28 (
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TACCESS_ERR_INFO erinfo
);
```

(2) 引数

buffer : S3F28 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。
 msg_len : S3F28 メッセージのバイトサイズです。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)
 erinfo : S3F28 の応答情報を保存する構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	メッセージ形式が正しくなかった。(リスト構造の違い、データ行コードの違いなど)

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S3F28 メッセージのデコードを行い、得られた情報を erinfo 構造体にセットします。

正常にデコードできた場合は、0 を返却します。また、メッセージフォーマットが SEMI 仕様に合致しなかった場合は、(-1) が返却されます。

3. 2. 23 S5F1 メッセージ – アラーム情報通知

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS5F1()	S5F1 をエンコードします。	アラーム通知情報をエンコードします。
2	DSH_DecodeS5F1()	S5F1 をデコードします。	アラーム通知情報にデコードします。
3	DSH_EncodeS5F2()	S5F2 のメッセージをエンコードします。	ack をエンコードします。
4	DSH_DecodeS5F2()	S5F2 のメッセージをデコードします。	ack を取得します。

(2) S5F1 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは構造体 TAL_S5F1_INFO を使って行います。

①アラーム通知情報を保存する構造体

```
typedef struct {
    int      on_off;
    TALID    alid;
    TALCD    alcd;
    char     *altx;
} TAL_S5F1_INFO;
```

(3) TAL_S5F1_INFO 構造体への変数値の設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshMakeTAL_S5F1_INFO	TAL_S5F1_INFO にアラーム通知情報を設定する。
2	DshFreeTAL_S5F1_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

(4) S5F2 のユーザインタフェース

ACK を関数の引数を使って受け渡しします。

3. 2. 23. 1 DSH_EncodeS5F1() - S5F1 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS5F1(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TAL_S5F1_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS5F1(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TAL_S5F1_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS5F1(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TAL_S5F1_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S5F1 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : アラーム通知情報を格納するための構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S5F1 メッセージを作成します。
info で指定された構造体 TAL_S5F1_INFO 内に含まれるアラーム情報を S5F1 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int ALCD = 2;
int ON_OFF = 1;
char* ALTX = "Chamber Pressure-1 Over";

BYTE buff[100];
int msg_len;
int ei;
TAL_S5F1_INFO info;

DshMakeTAL_S5F1_INFO( &info, AL_AlarmPressure_1_Low, ALCD, ALTX, ON_OFF );

ei = DSH_EncodeS5F1( buff, 100, &info, &msg_len );
.
.
DshFreeTAL_S5F1_INFO( &info );
```

②c#

```
int ALCD = 2;
int ON_OFF = 1;
string ALTX = "Chamber Pressure-1 Over";

int ei;
int msg_len = 0;
TAL_S5F1_INFO info = new INFO.TAL_S5F1_INFO();
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(100);

DshMakeTAL_S5F1_INFO( ref info, AL_AlarmPressure_1_Low, ALCD, ALTX, ON_OFF );

ei = DSH_EncodeS5F1(buff, 100, ref info, ref msg_len); // encode S5F1.
.
.
DshFreeTAL_S5F1_INFO( ref info );
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 23. 2 DSH_DecodeS5F1() - S5F1 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS5F1(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TAL_S5F1_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS5F1(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TAL_S5F1_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS5F1(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TAL_S5F1_INFO info
);
```

(2) 引数

buffer : S5F1 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S5F1 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : アラーム通知情報を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S5F1 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、info に格納されます。

(5) 例

①C/C++

```
BYTE buff[2000];           // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S5F1 受信)
int msg_len = 53;         // 受信した S5F1 メッセージのバイトサイズ

TAL_S5F1_INFO info;
int ei;
ei = DSH_DecodeS5F1( buff, msg_len, &info );
.
.
DshFreeTAL_S5F1_INFO( &info );
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S5F1 受信)

int msg_len = 53;         // 受信した S5F1 メッセージのバイトサイズ
TAL_S5F1_INFO info = new TAL_S5F1_INFO();

int ei = DSH_DecodeS5F1( buff, msg_len, 53, ref info );
.
.
DshFreeTAL_S5F1_INFO( ref info );
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 23. 3 DSH_EncodeS5F2() - S5F2 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX EncodeS5F2(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function EncodeS5F2(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ack As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int EncodeS5F2(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S5F2 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ack : S5F2 の ACK です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに ack を含めて S5F2 メッセージを作成します。
作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

3. 2. 23. 4 DSH_DecodeS5F2 () – 受信した S5F2 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS5F2 (
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *ack
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS5F2 (
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ack As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS5F2 (
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int ack
);
```

(2) 引数

buffer : S5F2 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S5F2 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

ack : S5F2 の ACK 格納用です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	メッセージ形式が正しくなかった。(リスト構造の違い、データ形式の違いなど)

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S5F2 メッセージのデコードを行い、ACK の値を ack に返却します。

正常にデコードできた場合は、0 を返却します。また、メッセージフォーマットが SEMI 仕様に合致しなかった場合は、(-1) が返却されます。

3. 2. 24 S5F3 メッセージ – アラーム報告/無効の送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS5F3()	S5F3 をエンコードします。	アラーム報告/無効をエンコードします。
2	DSH_DecodeS5F3()	S5F3 をデコードします。	アラーム報告/無効をデコードします。
3	DSH_EncodeS5F4()	S5F4 のメッセージをエンコードします。	ack をエンコードします。
4	DSH_DecodeS5F4()	S5F4 のメッセージをデコードします。	ack を取得します。

(2) S5F3 のユーザインタフェース情報

アラーム ID, 有効/無効フラグ、全 ID を対象にするかどうかのフラグがあります。
これらに関数の引数を使って行います。

(3) S5F2 のユーザインタフェース

ACK を関数の引数を使って受け渡します。

3. 2. 24. 1 DSH_EncodeS5F3() - S5F3 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS5F3(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TALID alid,
    int aled,
    int all_flag,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS5F3(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    alid As Integer,
    aled As Integer,
    all_flag As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS5F3(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    uint alid,
    int aled,
    int all_flag,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S5F3 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

alid : アラーム ID です。(all_flag=1 の場合は、値は使用されません。)

aled : ALED(有効/無効フラグ)です。 0=無効、128(0x80)=有効

all_flag : 全アラーム ID 指定かどうかのフラグ。 0=1 個だけ指定、 1=全アラーム ID を指定する。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S5F3 メッセージを作成します。
 alid, aled, all_flag で指定された引数を S5F3 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
 作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
 もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
uint AL_AlarmPressure_1_Low = 101;
int ON_OFF = 0x80;           // 有効
int ALL_FLAG = 0;

BYTE buff[100];
int msg_len;
int ei;
TAL_S5F3_INFO info;

ei = DSH_EncodeS5F3( buff, 100, AL_AlarmPressure_1_Low, ON_OFF, ALL_FLAG, &msg_len );
.
.
```

②c#

```
uint AL_AlarmPressure_1_Low = 101;
int ON_OFF = 0x80;
int ALL_FLAG = 0;

int ei;
int msg_len = 0;
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(100);

DshMakeTAL_S5F3_INFO( ref info, AL_AlarmPressure_1_Low, ALCD, ALTX, ON_OFF );

ei = DSH_EncodeS5F3(buff, 100, AL_AlarmPressure_1_Low, ON_OFF, ALL_FLAG, ref msg_len);
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 24. 2 DSH_DecodeS5F3() - S5F3 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS5F3(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TALID *alid,
    int *aled,
    int *all_flag
);
```

[VB.Net]

```
Function DSH_DecodeS5F3(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef alid As Integer,
    ByRef aled As Integer,
    ByRef all_flag As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS5F3(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref uint alid,
    ref int aled,
    ref int all_flag
);
```

(2) 引数

buffer : S5F3 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S5F3 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

alid : アラーム ID 格納用です。(all_flag=1 の場合は、値は使用されません。)

aled : ALED(有効/無効フラグ) 格納用です。 0=無効、128=有効

all_flag : 全アラーム ID 指定かどうかのフラグ 格納用です。 0=1 個だけ指定、1=全アラーム ID。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S5F3 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、info に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buff[100]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S5F3 受信)
int msg_len = 13; // 受信した S5F3 メッセージのバイトサイズ

TALID alid;
int aled;
int all_flag;

int ei;
ei = DSH_DecodeS5F3( buff, msg_len, &alid, &aled, &all_flag );
.
.
```

② c#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(100);
(S5F3 受信)
int msg_len = 13; // 受信した S5F3 メッセージのバイトサイズ

uint alid = 0;
int aled = 0;
int all_flag = 0;

int ei = DSH_DecodeS5F3( buff, msg_len, ref alid, ref aled, ref all_flag );
.
.
```

3. 2. 24. 3 DSH_EncodeS5F4() - S5F4 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX EncodeS5F4(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function EncodeS5F4(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ack As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int EncodeS5F4(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S5F4 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ack : S5F4 の ACK です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに ack を含めて S5F4 メッセージを作成します。
作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

3. 2. 24. 4 DSH_DecodeS5F4 () – 受信した S5F4 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS5F4 (
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *ack
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS5F4 (
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ack As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS5F4 (
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int ack
);
```

(2) 引数

buffer : S5F4 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。
 msg_len : S5F4 メッセージのバイトサイズです。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)
 ack : S5F4 の ACK 格納用です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	メッセージ形式が正しくなかった。(リスト構造の違い、データアイテムの違いなど)

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S5F4 メッセージのデコードを行い、ACK の値を ack に返却します。

正常にデコードできた場合は、0 を返却します。また、メッセージフォーマットが SEMI 仕様に合致しなかった場合は、(-1) が返却されます。

3. 2. 25 S5F5 メッセージ – アラーム (装置状態変数) 変数名リストの要求

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS5F5()	S5F5 をエンコードします。	アラーム情報を求めたい ALID をエンコードします。
2	DSH_DecodeS5F5()	S5F5 をデコードします。	デコードし、ALID を取得します。 ALID 配列領域に取得します。
3	DSH_EncodeS5F6()	S5F6 のメッセージをエンコードします。	アラームリストを S5F6 にエンコードします。
4	DSH_DecodeS5F6()	S5F6 のメッセージをデコードします。	デコードし、アラームリストを取得します。 TAL_S5F6_LIST 構造体に格納します。

(2) S5F5 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは、符号なし 32 ビット整数の配列と ALID 数になります。

uint alid_list[] と alid count (uint は Unsigned 32 bits Integer の意味です。)

(3) S5F6 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは TAL_S5F6_LIST を使って行います。

①アラーム情報1個分を保存する構造体

```
typedef struct {
    int      on_off;
    TALID    alid;
    TALCD    alcd;
    char     *altx;
} TAL_S5F1_INFO;
```

②複数のアラーム情報を保存する構造体

```
typedef struct {
    int      count;
    TAL_S5F1_INFO **al_list;
} TAL_S5F6_LIST;
```

(4) TAL_S5F6_LIST 構造体へのアラーム情報の設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTAL_S5F6_LIST	TAL_S5F6_LIST を初期設定する。
2	DshPutTAL_S5F6_LIST	1 個のアラーム情報をリストに加える。
3	DshMakeTAL_S5F1_INFO	1 個のアラーム情報を作成する。(TAL_S5F1_INFO 使用)
4	DshFreeTAL_S5F6_LIST	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 25. 1 DSH_EncodeS5F5() — S5F5 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS5F5(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TALID *alid_list,
    int count,
    int *msg_len
);
```

[VB.Net]

```
Function DSH_EncodeS5F5(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    alid_list As UInteger(),
    count As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS5F5(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    uint[] alid_list,
    int count,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S5F5 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

alid_list : ALID が格納されている配列リストです。

count : alid_list 配列に格納されている ALID の数です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S5F5 メッセージを作成します。
alid_list 配列に count 分の ALID をエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1)を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
TALID AL_AlarmTempOver      1
TALID AL_AlarmPressure_1_Low 101
TALID AL_AlarmPressure_2_Low 102
TALID AL_COUNT 3
TALID alid_list[AL_COUNT] = {
    AL_AlarmTempOver, AL_AlarmPressure_1_Low, AL_AlarmPressure_2_Low // 3個
};
BYTE buffer[64];
int ei;
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS5F5( buff, 64, alid_list, AL_COUNT, &msg_len );
.
.
```

②C#

```
uint AL_AlarmTempOver      1
uint AL_AlarmPressure_1_Low 101
uint AL_AlarmPressure_2_Low 102
uint AL_COUNT 3
uint[] alid_lis] = {
    AL_AlarmTempOver, AL_AlarmPressure_1_Low, AL_AlarmPressure_2_Low // 3個
};

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(64);

int msg_len = 0;
int ei = DSH_EncodeS5F5( buff, 64, alid_list, AL_COUNT, ref msg_len );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 25. 2 DSH_DecodeS5F5() — S5F5 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS5F5(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TALID alid_list[],
    int max_count,
    int *vount
);
```

[VB.Net]

```
Function DSH_DecodeS5F5(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    alid_list As UInteger(),
    max_count As UInteger,
    ByRef count As Integer,
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS5F5(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    uint[] alid_list,
    int max_count,
    ref int count
);
```

(2) 引数

buffer : S5F5 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S5F5 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

alid_list : ALID を格納する配列です。

max_count : alid_list に収納できる最大個数

count : デコードで得られた ALID の数

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S5F5 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、alid_list に格納し、デコードで得られた ALID 数は、count に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[1000]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S5F5受信)
int msg_len = 32; // 受信した S5F5 メッセージのバイトサイズ

uint alid_list[64];
int count;
int ei;
ei = DSH_DecodeS5F5( buff, msg_len, 64, &count );
.
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1000);
(S5F5受信)
int msg_len = 24; // 受信した S5F5 メッセージのバイトサイズ

uint[] alid_list = new uint[64];
int count = 0;
int ei = DSH_DecodeS5F5( buff, msg_len, 64, ref count );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 25. 3 DSH_EncodeS5F6() - S5F6 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS5F6(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TAL_S5F6_LIST *list,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS5F6(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef list As TAL_S5F6_LIST,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS5F6(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TAL_S5F6_LIST list,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S5F6 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

list : アラーム情報を格納用構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S5F6 メッセージを作成します。

list で指定された構造体 TAL_S5F6_LIST 内に含まれるアラーム情報を S5F6 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。

もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
TALID AL_AlarmTempOver      1
TALID AL_AlarmPressure_1_Low 101
TALID AL_AlarmPressure_2_Low 102

int          ALCD1 = 2;
int          ALCD2 = 2;
int          ALCD3 = 2;

char* ALTX1 = "Chamber Temperature Over";
char* ALTX2 = "Chamber Pressure-1 Over";
char* ALTX3 = "Chamber Pressure-2 Over";

TAL_S5F6_LIST list;
TAL_S5F1_INFO info;

DshInitTAL_S5F6_LIST( &list, 3 );
DshMakeTAL_S5F1_INFO( &info, AL_AlarmTempOver, ALCD1, ALTX1, 1 );
DshPutTAL_S5F6_LIST( &list, &info );
DshFreeTAL_S5F1_INFO( &info );

DshMakeTAL_S5F1_INFO( &info, AL_AlarmPressure_1_Low, ALCD2, ALTX2, 1 );
DshPutTAL_S5F6_LIST( &list, &info );
DshFreeTAL_S5F1_INFO( &info );

DshMakeTAL_S5F1_INFO( &info, AL_AlarmPressure_2_Low, ALCD3, ALTX3, 1 );
DshPutTAL_S5F6_LIST( &list, &info );
DshFreeTAL_S5F1_INFO( &info );

ei = DSH_EncodeS5F6(buff, RSP_BUFF_SIZE, &list, &msg_len );
DshFreeTAL_S5F6_LIST( &list );
.
```

②c#

```
uint[] alid_list = {                // ALID list
    AL_AlarmTempOver,
    AL_AlarmPressure_1_Low,
    AL_AlarmPressure_2_Low
};

int ALCD_AL_AlarmTempOver = 2;
int ALCD_AL_AlarmPressure_1_Low = 2;
int ALCD_AL_AlarmPressure_2_Low = 3;

string ALTX_AL_AlarmTempOver = "Chamber Temperature Over";
string ALTX_AL_AlarmPressure_1_Low = "Chamber Pressure-1 Over";
string ALTX_AL_AlarmPressure_2_Low = "Chamber Pressure-2 Over";
```



```
TAL_S5F6_LIST list = new TAL_S5F6_LIST();
TAL_S5F1_INFO info = new TAL_S5F1_INFO();

IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1000);
DshInitTAL_S5F6_LIST( ref list, 3 );

DshMakeTAL_S5F1_INFO( ref info,
    AL_AlarmTempOver, ALCD_AL_AlarmTempOver, ALTX_AL_AlarmTempOver, 1 );
DshPutTAL_S5F6_LIST( ref list, ref info );
DshFreeTAL_S5F1_INFO( ref info );

DshMakeTAL_S5F1_INFO( ref info,
    AL_AlarmPressure_1_Low, ALCD_AL_AlarmPressure_1_Low, ALTX_AL_AlarmPressure_1_Low, 1 );
DshPutTAL_S5F6_LIST( ref list, ref info );
DshFreeTAL_S5F1_INFO( ref info );

DshMakeTAL_S5F1_INFO( ref info,
    AL_AlarmPressure_2_Low, ALCD_AL_AlarmPressure_2_Low, ALTX_AL_AlarmPressure_2_Low, 1 );
DshPutTAL_S5F6_LIST( ref list, ref info );
DshFreeTAL_S5F1_INFO( ref info );

ei = DSH_EncodeS5F6(buff, 1000, ref list, ref msg_len);
.
.
DshFreeTAL_S5F6_LIST(ref list);
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 25. 4 DSH_DecodeS5F6() — S5F6 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS5F6(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TAL_S5F6_LIST *list
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS5F6(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef list As TAL_S5F6_LIST
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS5F6(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TAL_S5F6_LIST list
);
```

(2) 引数

buffer : S5F6 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S5F6 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

list : アラームの名前情報を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S5F6 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、list に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buff[2000];          // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
                          (S5F6 受信)
int msg_len = 161;       // 受信した S5F6 メッセージのバイトサイズ

TAL_S5F6_LIST list;
int ei;
ei = DSH_DecodeS5F6( buff, msg_len, &list );
.
.
DshFreeTAL_S5F6_LIST(ref list);
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
                          (S5F6 受信)
int msg_len = 161;       // 受信した S5F6 メッセージのバイトサイズ
TAL_S5F6_LIST list = new TAL_S5F6_LIST();

int ei = DSH_DecodeS5F6( buff, msg_len, ref list );
.
.
DshFreeTAL_S5F6_LIST(ref list);
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 26 S6F1 メッセージ – トレースデータの送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS6F1()	S6F1 をエンコードします。	トレースデータをエンコードします。
2	DSH_DecodeS6F1()	S6F1 をデコードします。	トレースデータをデコードします。
3	DSH_EncodeS6F2()	S6F2 のメッセージをエンコードします。	ack をエンコードします。
4	DSH_DecodeS6F2()	S6F2 のメッセージをデコードします。	ack を取得します。

(2) S6F1 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは構造体 TTRACE_DATA を使って行います。

①EC を1個分を保存する構造体

```
typedef struct {
    int      format;           // data item code
    int      asize;           // array size
    void     *sv;             // status data value
} TTRACE_SV;
```

②複数の変数値を保存する構造体

```
typedef struct {
    void     *trid;           // trace id
    int      format;         // trace id format
    int      asize;         // trace id array size
    int      smpIn;         // sampling no.
    char     *stime;         // start time
    int      count;         // no. of data
    TTRACE_SV **sv_list;    // sv ptr list
} TTRACE_DATA;
```

(3) TTRACE_DATA 構造体への変数値の設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTTRACE_DATA	TTRACE_DATA を初期設定する。
2	DshPutTTRACE_DATA	1 個の SV のトレースデータを構造体に加える。
3	DshMakeTTRACE_SV	TTRACE_SV に1個のデータを作成する。
4	DshFreeTTRACE_DATA	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 26. 1 DSH_EncodeS6F1() - S6F1 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS6F1(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TTRACE_DATA *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS6F1(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TTRACE_DATA,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS6F1(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TTRACE_DATA info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F1 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : トレースデータ情報を格納されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S6F1 メッセージを作成します。
info で指定された構造体 TTRACE_DATA 内に含まれるトレースデータ情報を S6F1 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```

uint   SV_ControlState      = 8194           // U2
uint   SV_LoadCarAccessStatus = 8205        // U1

char*   TRID      = "TRID001";
USHORT  SMPLIN   = 1;
char*   STIME    = "2013071013450412";
int     SV_COUNT = 2;
USHORT  SV_VAL_1 = 1;
BYTE    SV_VAL_2 = 5;

int     ei;
BYTE    buff[1000];
int     msg_len;
TTRACE_DATA  info;
TTRACE_SV    sinfo;

DshInitTTRACE_DATA( &info, TRID, SMPLIN, STIME, SV_COUNT );

DshMakeTTRACE_SV( &sinfo, ICODE_U2, 1, &SV_VAL_1 );
DshPutTTRACE_DATA( &info, &sinfo );
DshFreeTTRACE_SV( &sinfo );

DshMakeTTRACE_SV( &sinfo, ICODE_U1, 1, &SV_VAL_2 );
DshPutTTRACE_DATA( &info, &sinfo );
DshFreeTTRACE_SV( &sinfo );

ei = DSH_EncodeS6F1( buff, 1000, &info, &msg_len );
.
.
DshFreeTTRACE_DATA( &info );

```

②c#

```

uint   SV_ControlState      = 8194           // U2
uint   SV_LoadCarAccessStatus = 8205        // U1

int   SV_VAL_1 = 1;
int   SV_VAL_2 = 5;

int   ei;
int   msg_len = 0;
IntPtr int_ptr = Marshal.AllocCoTaskMem(256);

IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1000);
TTRACE_DATA info = new TTRACE_DATA();
TTRACE_SV sinfo = new TTRACE_SV();

```

```
DshInitTTRACE_DATA(ref info, TRID, SMPLIN, STIME, SV_COUNT);
```

```
copy_int_to_ptr(int_ptr, SV_VAL_1);  
DshMakeTTRACE_SV( ref sinfo, ICODE_U2, 1, int_ptr);  
DshPutTTRACE_DATA(ref info, ref sinfo);  
DshFreeTTRACE_SV( ref sinfo);
```

```
copy_int_to_ptr(int_ptr, SV_VAL_2);  
DshMakeTTRACE_SV(ref sinfo, ICODE_U1, 1, int_ptr);  
DshPutTTRACE_DATA(ref info, ref sinfo);  
DshFreeTTRACE_SV(ref sinfo);
```

```
ei = DSH_EncodeS6F1(buff, 1000, ref info, ref msg_len);
```

```
DshFreeTTRACE_DATA(ref info);  
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);  
Marshal.FreeCoTaskMem(int_ptr);  
.  
.
```

```
IntPtr copy_int_to_ptr(IntPtr ptr, int d)  
{  
    int[] d_list = new int[1];  
    d_list[0] = d;  
    Marshal.Copy(d_list, 0, ptr, 1);  
    return ptr;  
}
```

3. 2. 26. 2 DSH_DecodeS6F1() - S6F1 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F1(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TTRACE_DATA *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F1(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TTRACE_DATA
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F1(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TTRACE_DATA info
);
```

(2) 引数

buffer : S6F1 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S6F1 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : 変数データ値を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F1 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、info に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buff[2000];          // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。  
(S6F1 受信)  
int msg_len = 55;        // 受信した S6F1 メッセージのバイトサイズ  
  
TTRACE_DATA info;  
int ei;  
ei = DSH_DecodeS6F1( buff, msg_len, &info );  
.  
.
```

② c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);  
(S6F1 受信)  
int msg_len = 55;        // 受信した S6F1 メッセージのバイトサイズ  
TTRACE_DATA info = new TTRACE_DATA();  
int ei = DSH_DecodeS6F1( buff, msg_len, 64, ref info );  
.  
.  
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 26. 3 DSH_EncodeS6F2() - S6F2 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX EncodeS6F2(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function EncodeS6F2(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ack As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int EncodeS6F2(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F2 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ack : S6F2 の ACK です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに ack を含めて S6F2 メッセージを作成します。
作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

3. 2. 26. 4 DSH_DecodeS6F2 () – 受信した S6F2 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F2 (
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *ack
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F2 (
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ack As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F2 (
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int ack
);
```

(2) 引数

buffer : S6F2 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。
 msg_len : S6F2 メッセージのバイトサイズです。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)
 ack : S6F2 の ACK 格納用です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	メッセージ形式が正しくなかった。(リスト構造の違い、データ形式の違いなど)

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F2 メッセージのデコードを行い、ACK の値を ack に返却します。

正常にデコードできた場合は、0 を返却します。また、メッセージフォーマットが SEMI 仕様に合致しなかった場合は、(-1) が返却されます。

3. 2. 27 S6F11 メッセージ – イベントレポートの送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機 能	備 考
1	DSH_EncodeS6F11()	S6F11 をエンコードします。	イベントレポートをエンコードします。
2	DSH_DecodeS6F11()	S6F11 をデコードします。	イベントレポートをデコードします。
3	DSH_EncodeS6F12()	S6F12 のメッセージをエンコードします。	ack をエンコードします。
4	DSH_DecodeS6F12()	S6F12 のメッセージをデコードします。	ack を取得します。

(2) S6F11 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは構造体 TS6F11_CE_INFO を使って行います。

①1 個のイベント情報を格納する構造体 (0 個以上のレポート情報を格納する。)

```
typedef struct {
    TCEID    ceid;
    int      rp_count;
    TS6F11_RP_INFO ** rp_list;
} TS6F11_CE_INFO;
```

②1 個のリンクレポート情報を格納する構造体 (0 個以上の変数情報を格納する。)

```
typedef struct {
    TRPID    rpid;
    int      v_count;
    TS6F11_V_INFO **v_list;
} TS6F11_RP_INFO;
```

③S6F11 に含む 1 個の変数情報を格納する構造体

```
typedef struct {
    TVID     vid;
    int      format;
    int      asize;
    void     *value;
    void     **link;           // format-L, LINK TS6F11_V_INFO を指す
} TS6F11_V_INFO;
```

(3) TS6F11_CE_INFO 構造体への変数値の設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTS6F11_CE_INFO	TS6F11_CE_INFO を初期設定する。
2	DshPutTS6F11_CE_INFO	1 個のレポート情報をイベントレポート構造体に加える。
3	DshFreeTS6F11_CE_INFO	TS6F11_CE_INFO 構造体内で使用したヒープメモリを解放する。
4	DshInitTS6F11_RP_INFO	TS6F11_RP_INFO を初期設定する。
5	DshPutTS6F11_RP_INFO	レポート情報に変数値を 1 個加える。
6	DshFreeTS6F11_RP_INFO	TS6F11_RP_INFO 構造体内で使用したヒープメモリを解放する。
7	DshMakeTS6F11_V_INFO	変数値情報を TS6F11_V_INFO 内に作成する。
8	DshFreeTS6F11_V_INFO	TS6F11_V_INFO 構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 27. 1 DSH_EncodeS6F11() - S6F11 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS6F11(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TS6F11_CE_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS6F11(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TS6F11_CE_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS6F11(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TS6F11_CE_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F11 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : イベントレポート情報を格納されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S6F11 メッセージを作成します。

info で指定された構造体 TS6F11_CE_INFO 内に含まれるイベントレポート情報を S6F11 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。

もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```

char*   CLOCK   = "2013071013450412";
USHORT C_STATE = 1;
uint   RP_ControlState   = 100;

uint   RP_ControlState   = 100;

uint   SV_Clock   =      = 8192; // A
uint   SV_ControlState   = 8194; // U2

int    ei;
BYTE  buff[1000];
int    msg_len;
TS6F11_CE_INFO  info;
TS6F11_RP_INFO  rinfo;
TS6F11_V_INFO   vinfo;

DshInitTS6F11_CE_INFO( &info, RP_ControlState, 1 );

DshInitTS6F11_RP_INFO( &rinfo, RP_ControlState, 2 );

DshMakeTS6F11_V_INFO( &vinfo, SV_Clock, ICODE_A, strlen(CLOCK), CLOCK );
DshPutTS6F11_RP_INFO( &rinfo, &vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( &vinfo );

DshMakeTS6F11_V_INFO( &vinfo, SV_ControlState, ICODE_U2, 1, &C_STATE );
DshPutTS6F11_RP_INFO( &rinfo, &vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( &vinfo );

DshPutTS6F11_CE_INFO( &info, &rinfo );
DshFreeTS6F11_RP_INFO( &rinfo );

ei = DSH_EncodeS6F11( buff, 1000, &info, &msg_len );//
.
.
DshFreeTS6F11_CE_INFO( &info );

```

②c#

```

string CLOCK   = "2013071013450412";
UInt16 C_STATE = 1;
uint   RP_ControlState   = 100;

uint   RP_ControlState   = 100;

uint   SV_Clock   =      = 8192; // A
uint   SV_ControlState   = 8194; // U2

```

```
int    ei;

int    msg_len;
TS6F11_CE_INFO  info;
TS6F11_RP_INFO  rinfo;
TS6F11_V_INFO   vinfo;
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1000);

DshInitTS6F11_CE_INFO( ref info, RP_ControlState, 1 );

DshInitTS6F11_RP_INFO( ref rinfo, RP_ControlState, 2 );

DshMakeTS6F11_V_INFO( ref vinfo, SV_Clock, ICODE_A, DshStrLen(CLOCK), CLOCK );
DshPutTS6F11_RP_INFO( ref rinfo, ref vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( ref vinfo );

DshMakeTS6F11_V_INFO( ref vinfo, SV_ControlState, ICODE_U2, 1, ref C_STATE );
DshPutTS6F11_RP_INFO( ref rinfo, ref vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( ref vinfo );

DshPutTS6F11_CE_INFO( ref info, ref rinfo );
DshFreeTS6F11_RP_INFO( ref rinfo );

ei = DSH_EncodeS6F11( buff, 1000, ref info, ref msg_len );    //
.
.
DshFreeTS6F11_CE_INFO( ref info );
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

(注) DshStrLen() は、DshGemPro.LIB クラスの関数であり、文字列のバイト長を取得します。

3. 2. 27. 2 DSH_DecodeS6F11() - S6F11 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F11(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TS6F11_CE_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F11(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TS6F11_CE_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F11(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TS6F11_CE_INFO info
);
```

(2) 引数

buffer : S6F11 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S6F11 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : 変数データ値を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F11 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、info に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buffer[2000]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S6F11 受信)
int msg_len = 58; // 受信した S6F11 メッセージのバイトサイズ

TS6F11_CE_INFO info;
int ei;
ei = DSH_DecodeS6F11( buffer, msg_len, &info );
.
.
DshFreeTS6F11_CE_INFO( &info );
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S6F11 受信)
int msg_len = 55; // 受信した S6F11 メッセージのバイトサイズ
TS6F11_CE_INFO info = new TS6F11_CE_INFO();
int ei = DSH_DecodeS6F11( buff, msg_len, 64, ref info );
.
.
DshFreeTS6F11_CE_INFO( ref &info );
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 27. 3 DSH_EncodeS6F12() - S6F12 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX EncodeS6F12(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function EncodeS6F12(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ack As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int EncodeS6F12(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F12 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。
 buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。
 ack : S6F12 の ACK です。
 msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに ack を含めて S6F12 メッセージを作成します。
 作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
 もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

3. 2. 27. 4 DSH_DecodeS6F12 () – 受信した S6F12 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F12 (
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *ack
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F12 (
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ack As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F12 (
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int ack
);
```

(2) 引数

buffer : S6F12 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。
 msg_len : S6F12 メッセージのバイトサイズです。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)
 ack : S6F12 の ACK 格納用です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	メッセージ形式が正しくなかった。(リスト構造の違い、データアイテムの違いなど)

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F12 メッセージのデコードを行い、ACK の値を ack に返却します。

正常にデコードできた場合は、0 を返却します。また、メッセージフォーマットが SEMI 仕様に合致しなかった場合は、(-1) が返却されます。

3. 2. 28 S6F15 メッセージ – イベントレポートの送信要求

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機 能	備 考
1	DSH_EncodeS6F15()	S6F15 をエンコードします。	イベントレポートID をエンコードします。
2	DSH_DecodeS6F15()	S6F15 をデコードします。	イベントレポートID をデコードします。
3	DSH_EncodeS6F16()	S6F16 のメッセージをエンコードします。	イベントレポート情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS6F16()	S6F16 のメッセージをデコードします。	イベントレポート情報を取得します。

(2) S6F15 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは1個のCEIDです。

(3) S6F16 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは構造体 TS6F11_CE_INFO を使って行います。

①1個のイベント情報を格納する構造体 (0個以上のレポート情報を格納する。)

```
typedef struct {
    TCEID    ceid;
    int      rp_count;
    TS6F11_RP_INFO ** rp_list;
} TS6F11_CE_INFO;
```

②1個のリクエスト情報を格納する構造体 (0個以上の変数情報を格納する。)

```
typedef struct {
    TRPID    rpid;
    int      v_count;
    TS6F11_V_INFO **v_list;
} TS6F11_RP_INFO;
```

③S6F16 に含む1個の変数情報を格納する構造体

```
typedef struct {
    TCEID    vid;
    int      format;
    int      asize;
    void     *value;
    void     **link;           // format-L, LINK TS6F11_V_INFO を指す
} TS6F11_V_INFO;
```

(4) TS6F11_CE_INFO 構造体への変数値の設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTS6F11_CE_INFO	TS6F11_CE_INFO を初期設定する。
2	DshPutTS6F11_CE_INFO	1 個のレポート情報をイベントレポート構造体に加える。
3	DshFreeTS6F11_CE_INFO	TS6F11_CE_INFO 構造体内で使用したヒープメモリを解放する。
4	DshInitTS6F11_RP_INFO	TS6F11_RP_INFO を初期設定する。
5	DshPutTS6F11_RP_INFO	レポート情報に変数値を 1 個加える。
6	DshFreeTS6F11_RP_INFO	TS6F11_RP_INFO 構造体内で使用したヒープメモリを解放する。
7	DshMakeTS6F11_V_INFO	変数値情報を TS6F11_V_INFO 内に作成する。
8	DshFreeTS6F11_V_INFO	TS6F11_V_INFO 構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 28. 1 DSH_EncodeS6F15() - S6F15 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS6F15(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TCEID *ceid,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS6F15(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ceid As UInteger,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS6F15(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    uint ceid,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F15 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。
 buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。
 ceid : CEID が格納されているポインタです。
 msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S6F15 メッセージを作成します。
 ceid をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
 作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
 もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
#define RP_ControlState          100

BYTE buff[64];
int ei;
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS6F15( buff, 64, RP_ControlState, &msg_len );
.
.
```

②C#

```
uint RP_ControlState = 100;

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(64);
int msg_len = 0;
int ei = DSH_EncodeS6F15( buff, 64, RP_ControlState, ref msg_len );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 28. 2 DSH_DecodeS6F15() - S6F15 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F15(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TCEID *ceid
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F15(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ceid As UInteger
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F15(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref uint ceid
);
```

(2) 引数

buffer : S6F15 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S6F15 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

ceid : CEID イベント ID を格納する領域のポインタです。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F15 メッセージのデコードを行います。
デコードしたイベント ID は、ceid に格納します。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buff[2000]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。  
(S6F15 受信)  
int msg_len = 32; // 受信した S6F15 メッセージのバイトサイズ  
TCEID ceid;  
int ei;  
ei = DSH_DecodeS6F15( buff, msg_len, &ceid );  
.  
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);  
(S6F15 受信)  
int msg_len = 32; // 受信した S6F15 メッセージのバイトサイズ  
  
uint ceid = 0;  
int ei = DSH_DecodeS6F15( buff, msg_len, ref ceid);  
.  
.  
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 28. 3 DSH_EncodeS6F16() - S6F16 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS6F16(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TS6F11_CE_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS6F16(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TS6F11_CE_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS6F16(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TS6F11_CE_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F16 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : イベントレポート情報を格納されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S6F16 メッセージを作成します。

info で指定された構造体 TS6F11_CE_INFO 内に含まれるイベントレポート情報を S6F16 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。

もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```

char* CLOCK    = "2013071013450412";
USHORT C_STATE = 1;
uint  RP_ControlState = 100;

uint  RP_ControlState = 100;

uint  SV_Clock =      = 8192; // A
uint  SV_ControlState = 8194; // U2

int   ei;
BYTE buff[1000];
int   msg_len;
TS6F11_CE_INFO info;
TS6F11_RP_INFO rinfo;
TS6F11_V_INFO vinfo;

DshInitTS6F11_CE_INFO( &info, RP_ControlState, 1 );

DshInitTS6F11_RP_INFO( &rinfo, RP_ControlState, 2 );

DshMakeTS6F11_V_INFO( &vinfo, SV_Clock, ICODE_A, strlen(CLOCK), CLOCK );
DshPutTS6F11_RP_INFO( &rinfo, &vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( &vinfo );

DshMakeTS6F11_V_INFO( &vinfo, SV_ControlState, ICODE_U2, 1, &C_STATE );
DshPutTS6F11_RP_INFO( &rinfo, &vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( &vinfo );

DshPutTS6F11_CE_INFO( &info, &rinfo );
DshFreeTS6F11_RP_INFO( &rinfo );

ei = DSH_EncodeS6F16( buff, 1000, &info, &msg_len );//
.
.
DshFreeTS6F11_CE_INFO( &info );

```

②c#

```

string CLOCK    = "2013071013450412";
UInt16 C_STATE = 1;

uint  RP_ControlState = 100;

uint  RP_ControlState = 100;

uint  SV_Clock =      = 8192; // A
uint  SV_ControlState = 8194; // U2

```

```
int    ei;

int    msg_len = 0;
TS6F11_CE_INFO  info;
TS6F11_RP_INFO  rinfo;
TS6F11_V_INFO   vinfo;
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1000);

DshInitTS6F11_CE_INFO( ref info, RP_ControlState, 1 );

DshInitTS6F11_RP_INFO( ref rinfo, RP_ControlState, 2 );

DshMakeTS6F11_V_INFO( ref vinfo, SV_Clock, ICODE_A, DshStrLen(CLOCK), CLOCK );
DshPutTS6F11_RP_INFO( ref rinfo, ref vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( ref vinfo );

DshMakeTS6F11_V_INFO( ref vinfo, SV_ControlState, ICODE_U2, 1, ref C_STATE );
DshPutTS6F11_RP_INFO( ref rinfo, ref vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( ref vinfo );

DshPutTS6F11_CE_INFO( ref info, ref rinfo );
DshFreeTS6F11_RP_INFO( ref rinfo );

ei = DSH_EncodeS6F16( buff, 1000, ref info, ref msg_len );    //
.
.
DshFreeTS6F11_CE_INFO( ref info );
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

(注) DshStrLen() は、DshGemPro.LIB クラスの関数であり、文字列のバイト長を取得します。

3. 2. 28. 4 DSH_DecodeS6F16() - S6F16 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F16(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TS6F11_CE_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F16(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TS6F11_CE_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F16(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TS6F11_CE_INFO info
);
```

(2) 引数

buffer : S6F16 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S6F16 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : 変数データ値を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F16 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、info に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buffer[2000];           // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S6F16 受信)
int msg_len = 58;           // 受信した S6F15 メッセージのバイトサイズ

TS6F11_CE_INFO info;
int ei;
ei = DSH_DecodeS6F16( buffer, msg_len, &info );
.
.
DshFreeTS6F11_CE_INFO( &info );
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S6F16 受信)
int msg_len = 55;           // 受信した S6F15 メッセージのバイトサイズ
TS6F11_CE_INFO info = new TS6F11_CE_INFO();

int ei = DSH_DecodeS6F16( buff, msg_len, ref info );
.
.
DshFreeTS6F11_CE_INFO( ref &info );
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 29 S6F19 メッセージ – 個別レポートの送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS6F19()	S6F19 をエンコードします。	レポートID をエンコードします。
2	DSH_DecodeS6F19()	S6F19 をデコードします。	レポートID をデコードします。
3	DSH_EncodeS6F20()	S6F20 のメッセージをエンコードします。	レポート情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS6F20()	S6F20 のメッセージをデコードします。	レポート情報を取得します。

(2) S6F19 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは1個のRPIDです。

(3) S6F20 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは構造体 TS6F11_RP_INFO を使って行います。

①1個のリンクレポート情報を格納する構造体 (0個以上の変数情報を格納する。)

```
typedef struct {
    TRPID    rpid;
    int      v_count;
    TS6F11_V_INFO    **v_list;
} TS6F11_RP_INFO;
```

②S6F20 に含む1個の変数情報を格納する構造体

```
typedef struct {
    TRPID    vid;
    int      format;
    int      asize;
    void     *value;
    void     **link;           // format=L, LINK TS6F11_V_INFO を指す
} TS6F11_V_INFO;
```

(4) TS6F11_RP_INFO 構造体への変数値の設定処理関連関数
C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。
.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTS6F11_RP_INFO	TS6F11_RP_INFO を初期設定する。
2	DshPutTS6F11_RP_INFO	レポート情報に変数値を1個加える。
3	DshFreeTS6F11_RP_INFO	TS6F11_RP_INFO 構造体内で使用したヒープメモリを解放する。
4	DshMakeTS6F11_V_INFO	変数値情報を TS6F11_V_INFO 内に作成する。
5	DshFreeTS6F11_V_INFO	TS6F11_V_INFO 構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 29. 1 DSH_EncodeS6F19() - S6F19 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS6F19(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TRPID *rpid,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS6F19(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    rpid As UInteger,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS6F19(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    uint rpid,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F19 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。
 buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。
 rpid : RPID が格納されているポインタです。
 msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S6F19 メッセージを作成します。
 rpid をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
 作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
 もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
#define RP_ControlState          100

BYTE buff[64];
int ei;
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS6F19( buff, 64, RP_ControlState, &msg_len );
.
.
```

②C#

```
uint RP_ControlState = 100;

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(64);
int msg_len = 0;
int ei = DSH_EncodeS6F19( buff, 64, RP_ControlState, ref msg_len );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 29. 2 DSH_DecodeS6F19() - S6F19 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F19(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TRPID *rpid
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F19(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef rpid As UInteger
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F19(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref uint rpid
);
```

(2) 引数

buffer : S6F19 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S6F19 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

rpid : RPID を格納する領域のポインタです。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F19 メッセージのデコードを行います。
デコードしたレポート ID は、rpid に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[2000];           // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S6F19 受信)
int msg_len = 6;           // 受信した S6F19 メッセージのバイトサイズ
TRPID rpid;
int ei;
ei = DSH_DecodeS6F19( buff, msg_len, &rpid );
.
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S6F19 受信)
int msg_len = 6;           // 受信した S6F19 メッセージのバイトサイズ

uint rpid = 0;
int ei = DSH_DecodeS6F19( buff, msg_len, ref rpid);
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 29. 3 DSH_EncodeS6F20() - S6F20 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS6F20(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TS6F11_RP_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS6F20(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TS6F11_RP_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS6F20(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TS6F11_RP_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F20 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : イベントレポート情報が格納されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S6F20 メッセージを作成します。

info で指定された構造体 TS6F11_RP_INFO 内に含まれるイベントレポート情報を S6F20 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。

もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```

char* CLOCK    = "2013071013450412";
USHORT C_STATE = 1;

uint  RP_ControlState  = 100;

uint  SV_Clock =      = 8192; // A
uint  SV_ControlState = 8194; // U2

int   ei;
BYTE  buff[1000];
int   msg_len;
TS6F11_RP_INFO  rinfo;
TS6F11_V_INFO   vinfo;

DshInitTS6F11_RP_INFO( &rinfo, RP_ControlState, 2 );

DshMakeTS6F11_V_INFO( &vinfo, SV_Clock, ICODE_A, strlen(CLOCK), CLOCK );
DshPutTS6F11_RP_INFO( &rinfo, &vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( &vinfo );

DshMakeTS6F11_V_INFO( &vinfo, SV_ControlState, ICODE_U2, 1, &C_STATE );
DshPutTS6F11_RP_INFO( &rinfo, &vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( &vinfo );

ei = DSH_EncodeS6F20( buff, 1000, &rinfo, &msg_len );
.
.
DshFreeTS6F11_RP_INFO( &rinfo );

```

②c#

```

string CLOCK    = "2013071013450412";
UInt16 C_STATE = 1;

uint  RP_ControlState  = 100;

uint  SV_Clock =      = 8192; // A
uint  SV_ControlState = 8194; // U2

int   ei;

int   msg_len = 0;
TS6F11_RP_INFO  rinfo;
TS6F11_V_INFO   vinfo;
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(1000);

DshInitTS6F11_RP_INFO( ref rinfo, RP_ControlState, 2 );

```

```
DshMakeTS6F11_V_INFO( ref vinfo, SV_Clock, ICODE_A, DshStrLen(CLOCK), CLOCK );
DshPutTS6F11_RP_INFO( ref rinfo, ref vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( ref vinfo );

DshMakeTS6F11_V_INFO( ref vinfo, SV_ControlState, ICODE_U2, 1, ref C_STATE );
DshPutTS6F11_RP_INFO( ref rinfo, ref vinfo );
DshFreeTS6F11_V_INFO( ref vinfo );

ei = DSH_EncodeS6F20( buff, 1000, ref info, ref msg_len ); //
.
.
DshFreeTS6F11_RP_INFO( ref rinfo );
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

(注) DshGemPro.LIB クラスの関数であり、文字列のバイト長を取得します。

3. 2. 29. 4 DSH_DecodeS6F20() - S6F20 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F20(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TS6F11_RP_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F20(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TS6F11_RP_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F20(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TS6F11_RP_INFO info
);
```

(2) 引数

buffer : S6F20 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S6F20 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : レポート情報を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F20 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、info に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buffer[2000];           // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S6F20 受信)
int msg_len = 24;           // 受信した S6F20 メッセージのバイトサイズ

TS6F11_RP_INFO info;
int ei;

ei = DSH_DecodeS6F20( buffer, msg_len, &info );
.
.
DshFreeTS6F11_RP_INFO( &info );
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S6F20 受信)
int msg_len = 24;           // 受信した S6F20 メッセージのバイトサイズ
TS6F11_RP_INFO info = new TS6F11_RP_INFO();

int ei = DSH_DecodeS6F20( buff, msg_len, ref info );
.
.
DshFreeTS6F11_RP_INFO( ref &info );
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 30 S6F23 メッセージ – スプールデータ要求の送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS6F23()	S6F23 をエンコードします。	RSDC をエンコードします。 (RSDC : スプール要求コード)
2	DSH_DecodeS6F23()	S6F23 をデコードします。	RSDC をデコードします。
3	DSH_EncodeS6F24()	S6F24 のメッセージをエンコードします。	RSDA をエンコードします。 (RSDA : スプール要求確認コード)
4	DSH_DecodeS6F24()	S6F24 のメッセージをデコードします。	RSDA を取得します。

(2) S6F23 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは1個のRSDC (スプール要求コード) です。

(3) S6F24 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは1個のRSDA (スプール要求確認コード) です。

3. 2. 30. 1 DSH_EncodeS6F23() — S6F23 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS6F23(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int rsdc,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS6F23(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    rsdc As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS6F23(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int rsdc,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F23 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

rsdc : RSDC (スプール要求コード) が格納されているポインタです。(0=転送要求, 1=破棄要求)

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S6F23 メッセージを作成します。
rsdc をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int rsrc = 0;

BYTE buff[64];
int ei;
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS6F23( buff, 64, rsrc, &msg_len );
.
.
```

②C#

```
int rsrc = 0;

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(64);
int msg_len = 0;
int ei = DSH_EncodeS6F23( buff, 64, rsrc, ref msg_len );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 30. 2 DSH_DecodeS6F23() - S6F23 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F23(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *rsdc
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F23(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef rsdc As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F23(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int rsdc
);
```

(2) 引数

buffer : S6F23 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S6F23 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

rsdc : スプール要求コードを格納する領域のポインタです。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F23 メッセージのデコードを行います。
デコードしたスプール要求コードは、rsdc に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[2000];          // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S6F23 受信)
int msg_len = 6;         // 受信した S6F23 メッセージのバイトサイズ
int rsrc;
int ei;
ei = DSH_DecodeS6F23( buff, msg_len, &rsrc );
.
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S6F23 受信)
int msg_len = 6;         // 受信した S6F23 メッセージのバイトサイズ

uint rsrc = 0;
int ei = DSH_DecodeS6F23( buff, msg_len, ref rsrc);
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 30. 3 DSH_EncodeS6F24() - S6F24 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS6F24(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int rsda,
    int *msg_len
);
```

[VB.Net]

```
Function DSH_EncodeS6F24(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    rsda As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS6F24(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int rsda,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S6F24 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

rsda : RSDA (スプール要求確認コード) 0=OK, 1=拒否, busy, retry, 2=拒否, no spool data)

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S6F24 メッセージを作成します。
rsda を S6F24 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int  rsda = 0;
int  ei;
BYTE buff[1000];
int  msg_len;

ei = DSH_EncodeS6F24( buff, 100, rsda, &msg_len ); //
.
.
```

②c#

```
int  rsda = 0
int  ei;
int  msg_len = 0;

ei = DSH_EncodeS6F24( buff, 1000, rsda, ref msg_len ); //
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 30. 4 DSH_DecodeS6F24() - S6F24 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS6F24(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *rsda
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS6F24(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef rsda As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS6F24(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int rsda
);
```

(2) 引数

buffer : S6F24 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S6F24 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

rsda : RSDA 格納用です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S6F24 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、rsda に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buffer[100];           // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S6F24 受信)
int msg_len = 3;           // 受信した S6F24 メッセージのバイトサイズ

int rsda;
int ei;

ei = DSH_DecodeS6F24( buffer, msg_len, &rsda );
.
.
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S6F24 受信)
int msg_len = 3;           // 受信した S6F24 メッセージのバイトサイズ

int rsda =0 ;

int ei = DSH_DecodeS6F24( buff, msg_len, ref rsda );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 31 S7F1 メッセージ – プロセスプログラム・ロード問合せ

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS7F1()	S7F1 をエンコードします。	PP ロード 問合せメッセージ をエンコードします。
2	DSH_DecodeS7F1()	S7F1 をデコードします。	PP ロード 問合せメッセージ をデコードします。
3	DSH_EncodeS7F2()	S7F2 のメッセージ をエンコードします。	ロード 許可情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS7F2()	S7F2 のメッセージ をデコードします。	ロード 許可情報を取得します。

(2) S7F1 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは、PPID と PP 情報のバイト長です。

(3) S7F2 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しはロード 許可情報です。(=ACK の意味)

3. 2. 31. 1 DSH_EncodeS7F1() - S7F1 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F1(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    char *ppid,
    int length,
    int *msg_len
);
```

[VB.Net]

```
Function DSH_EncodeS7F1(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ppid As String,
    length As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F1(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    string ppid,
    int length,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F1 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ppid : PPID(プロセスプログラム ID)です。

length : 問合せ PP のバイト長です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F1 メッセージを作成します。
ppid と length をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1)を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
char *ppid = "PPID1000";
int length = 64;

BYTE buff[100];
int ei;
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS7F1( buff, 100, ppid, length, &msg_len );
.
.
```

②C#

```
string ppid = "PPID1000";
int length = 64;

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(100);
int msg_len = 0;
int ei = DSH_EncodeS7F1( buff, 100, ppid, length, ref msg_len );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 31. 2 DSH_DecodeS7F1() - S7F1 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F1(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    char *ppid,
    int *length
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F1(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ppid As String,
    ByRef length As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F1(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref IntPtr ppid,
    ref int length
);
```

(2) 引数

buffer : S7F1 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F1 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

ppid : プログラム ID 格納です。(PPID に必要な十分の領域を準備してください)

length : PPID バイト長を格納する領域のポインタです。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F1 メッセージのデコードを行います。
デコードした PPID と同バイト長はそれぞれ、ppid, length に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[1000];          // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S7F1 受信)
int msg_len = 17;        // 受信した S7F1 メッセージのバイトサイズ
char ppid[128];
int length;
int ei;
ei = DSH_DecodeS7F1( buff, msg_len, ppid, &length );
.
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
(S7F1 受信)
int msg_len = 17;        // 受信した S7F1 メッセージのバイトサイズ
IntPtr ppid = Marshal. AllocCoTasmMem(128);
uint length = 0;

int ei = DSH_DecodeS7F1( buff, msg_len, ppid, ref length);
string pp_id = Marshal. PtrToStringAnsi(ppid);
.
.
Marshal. FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 31. 3 DSH_EncodeS7F2() - S7F2 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F2(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int ppgnt,
    int *msg_len
);
```

[VB.Net]

```
Function DSH_EncodeS7F2(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ppgnt As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F2(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int ppgnt,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F2 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ppgnt : ワード許可コードです。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F2 メッセージを作成します。
ppgnt を S7F2 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int ppgnt = 0;
int ei;
BYTE buff[1000];
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS7F2( buff, 100, ppgnt, &msg_len ); //
.
.
```

②c#

```
int ppgnt = 0
int ei;
int msg_len = 0;

ei = DSH_EncodeS7F2( buff, 1000, ppgnt, ref msg_len ); //
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 31. 4 DSH_DecodeS7F2() - S7F2 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F2(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *ppgnt
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F2(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ppgnt As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F2(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int ppgnt
);
```

(2) 引数

buffer : S7F2 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。
 msg_len : S7F2 メッセージのバイトサイズです。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)
 ppgnt : 戻り許可コードです。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F2 メッセージのデコードを行います。
 デコード結果は、ppgnt に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buffer[100];           // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S7F2受信)
int msg_len = 3;           // 受信したS7F2メッセージのバイトサイズ

int ppgnt;
int ei;

ei = DSH_DecodeS7F2( buffer, msg_len, &ppgnt );
.
.
```

②c#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S7F2受信)
int msg_len = 3;           // 受信したS7F2メッセージのバイトサイズ

int ppgnt =0 ;

int ei = DSH_DecodeS7F2( buff, msg_len, ref ppgnt );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 32 S7F3 メッセージ – PP プロセスプログラム送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS7F3()	S7F3 をエンコードします。	PP 送信メッセージをエンコードします。
2	DSH_DecodeS7F3()	S7F3 をデコードします。	PP 送信メッセージをデコードします。
3	DSH_EncodeS7F4()	S7F4 のメッセージをエンコードします。	確認情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS7F4()	S7F4 のメッセージをデコードします。	確認情報を取得します。

(2) S7F3 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは、PPID と PPBODY 情報です。

(3) S7F4 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しはプロセスプログラム送信確認です。(=ackc7)

3. 2. 32. 1 DSH_EncodeS7F3() - S7F3 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F3(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    char *ppid,
    char *ppbody,
    int *msg_len
);
```

[VB.Net]

```
Function DSH_EncodeS7F3(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ppid As String,
    ppbody As String,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F3(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    string ppid,
    string ppbody,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F3 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。
 buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。
 ppid : PPID(プロセスプログラム ID)です。
 ppbody : PP の本体です。
 msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F3 メッセージを作成します。
 ppid と ppbody をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが `buff_size` 以内であれば、0を返却します。
もし、メッセージが `buff_size` に入りきらなかった場合は、(-1)を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
char *ppid = "PPID1000";
char *ppbody = "PPBODY100200300";

BYTE buff[1000];
int ei;
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS7F3( buff, 1000, ppid, ppbody, &msg_len );
.
.
```

②C#

```
string ppid = "PPID1000";
string ppbody = "PPBODY100200300";

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
int msg_len = 0;
int ei = DSH_EncodeS7F3( buff, 1000, ppid, ppbody, ref msg_len );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(send_buff);
```

3. 2. 32. 2 DSH_DecodeS7F3() - S7F3 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F3(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    char *ppid,
    char *ppbody
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F3(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ppid As String,
    ByRef ppbody As String
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F3(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref IntPtr ppid,
    ref IntPtr ppbody
);
```

(2) 引数

buffer : S7F3 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。
msg_len : S7F3 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)
ppid : プロセスプログラム ID 格納です。(PPID に必要な十分の領域を準備してください)
ppbody : PP の本体情報を格納する領域のポインタです。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F3 メッセージのデコードを行います。
デコードした PPID、PPBODY はそれぞれ、ppid, ppbody に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[1000];           // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S7F3 受信)
int msg_len = 17;          // 受信した S7F3 メッセージのバイトサイズ
char ppid[128];
char ppbody[512];
int ei;
ei = DSH_DecodeS7F3( buff, msg_len, ppid, ppbody );
.
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
(S7F3 受信)
int msg_len = 17;          // 受信した S7F3 メッセージのバイトサイズ
IntPtr ppid = Marshal. AllocCoTasmMem(128);
IntPtr ppbody = Marshal. AllocCoTasmMem(512);

int ei = DSH_DecodeS7F3( buff, msg_len, ppid, ref ppbody);
string pp_id = Marshal. PtrToStringAnsi(ppid);
string pp_body = Marshal. PtrToStringAnsi(ppbody);
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(ppid);
Marshal.FreeCoTaskMem(ppbody);
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 32. 3 DSH_EncodeS7F4() - S7F4 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F4(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F4(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ack As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F4(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F4 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。
 buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。
 ack : PP 送信確認コードです。
 msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F4 メッセージを作成します。
 ack を S7F4 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
 作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
 もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int  ack = 0;
int  ei;
BYTE buff[100];
int  msg_len;

ei = DSH_EncodeS7F4( buff, 100, ack, &msg_len ); //
.
.
```

②c#

```
int  ack = 0;
int  ei;

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
int  msg_len = 0;

ei = DSH_EncodeS7F4( buff, 100, ack, ref msg_len ); //
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 32. 4 DSH_DecodeS7F4() — S7F4 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F4(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *ack
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F4(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ack As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F4(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int ack
);
```

(2) 引数

buffer : S7F4 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。
 msg_len : S7F4 メッセージのバイトサイズです。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)
 ack : PP 送信確認コード格納用です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F4 メッセージのデコードを行います。
 デコード結果は、ack に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buff[100]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S7F4 受信)
int msg_len = 3; // 受信した S7F4 メッセージのバイトサイズ

int ack;
int ei;

ei = DSH_DecodeS7F4( buff, msg_len, &ack );
.
.
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S7F4 受信)
int msg_len = 3; // 受信した S7F4 メッセージのバイトサイズ

int ack =0 ;
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);

int ei = DSH_DecodeS7F4( buff, msg_len, ref ack );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 33 S7F5 メッセージ – プロセスプログラム送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS7F5()	S7F5 をエンコードします。	PP 要求メッセージをエンコードします。
2	DSH_DecodeS7F5()	S7F5 をデコードします。	PP 要求メッセージをデコードします。
3	DSH_EncodeS7F6()	S7F6 のメッセージをエンコードします。	PPID, PPBODY をエンコードします。
4	DSH_DecodeS7F6()	S7F6 のメッセージをデコードします。	PPID, PPBODY 情報を取得します。

(2) S7F5 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは、PPID です。

(3) S7F6 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しはPPID と PPBODY です。

3. 2. 33. 1 DSH_EncodeS7F5() — S7F5 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F5(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    char *ppid,
    int *msg_len
);
```

[VB.Net]

```
Function DSH_EncodeS7F5(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ppid As String,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F5(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    string ppid,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F5 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ppid : PPID(プロセスプログラム ID)です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F5 メッセージを作成します。
ppid をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
char *ppid = "PPID1000";

BYTE send_buffer[128];
int ei;
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS7F5( send_buffer, 128, ppid, &msg_len );
.
.
```

②C#

```
string ppid = "PPID1000";

IntPtr send_buffer = Marshal. AllocCoTaskMem(128);
int msg_len = 0;
int ei = DSH_EncodeS7F5( send_buffer, 128, ppid, ref msg_len );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(send_buff);
```

3. 2. 33. 2 DSH_DecodeS7F5() — S7F5 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F5(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    char *ppid
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F5(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ppid As String
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F5(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref IntPtr ppid
);
```

(2) 引数

buffer : S7F5 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F5 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

ppid : プロセスプログラム ID 格納です。(PPID に必要な十分の領域を準備してください)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F5 メッセージのデコードを行います。
デコードした PPID は ppid に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[1000];          // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。  
(S7F5受信)  
int msg_len = 17;        // 受信したS7F5メッセージのバイトサイズ  
char ppid[128];  
int ei;  
ei = DSH_DecodeS7F5( buff, msg_len, ppid );  
.  
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);  
(S7F5受信)  
int msg_len = 17;        // 受信したS7F5メッセージのバイトサイズ  
IntPtr ppid = Marshal. AllocCoTasmMem(128);  
  
int ei = DSH_DecodeS7F5( buff, msg_len, ppid );  
string pp_id = Marshal. PtrToStringAnsi(ppid);  
.  
.  
Marshal. FreeCoTaskMem(ppid);  
Marshal. FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 33. 3 DSH_EncodeS7F6() - S7F6 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F6(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    char *ppid,
    char *ppbody,
    int *msg_len
);
```

[VB.Net]

```
Function DSH_EncodeS7F6(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ppid As String,
    ppbody As String,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F6(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    string ppid,
    string ppbody,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F6 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。
 buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。
 ppid : PPID(プロセスプログラム ID)です。
 ppbody : PP の本体です。
 msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F6 メッセージを作成します。
 ppid, ppbody を S7F6 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1)を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
char *ppid = "PPID1000";
char *ppbody = "PPBODY100200300";
int ei;
BYTE buff[1000];
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS7F6( buff, 1000, ppid, ppbody, &msg_len ); //
.
.
```

②c#

```
string ppid = "PPID1000";
string ppbody = "PPBODY100200300";
int ei;

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
int msg_len = 0;

ei = DSH_EncodeS7F6( buff, 100, ppid, ppbody, ref msg_len ); //
.
.
Marshal. FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 33. 4 DSH_DecodeS7F6() – S7F6 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F6(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    char *ppid,
    char *ppbody
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F6(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ppid As String,
    ByRef ppbody As String
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F6(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref IntPtr ppid,
    ref IntPtr ppbody
);
```

(2) 引数

buffer : S7F6 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F6 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

ppid : プロセスプログラム ID 格納です。(PPID に必要な十分の領域を準備してください)

ppbody : PP の本体情報を格納する領域のポインタです。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F6 メッセージのデコードを行います。
デコードした PPID、PPBODY はそれぞれ、ppid, ppbody に格納します。

(5) 例

① c、C++

```

BYTE buff[100]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S7F6 受信)
int msg_len = 17; // 受信した S7F3 メッセージのバイトサイズ
char ppid[128];
char ppbody[512];

int ei;

ei = DSH_DecodeS7F6( buff, msg_len, ppid, ppbody);
.
.

```

②c #

```

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S7F6 受信)
int msg_len = 3; // 受信した S7F6 メッセージのバイトサイズ

int msg_len = 17; // 受信した S7F3 メッセージのバイトサイズ
IntPtr ppid = Marshal. AllocCoTasmMem(128);
IntPtr ppbody = Marshal. AllocCoTasmMem(512);

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);

int ei = DSH_DecodeS7F6( buff, msg_len, ppid, ppbody );
string pp_id = Marshal. PtrToStringAnsi( ppid );
string pp_body = Marshal. PtrToStringAnsi( ppbody );
.
.
Marshal. FreeCoTaskMem( ppid );
Marshal. FreeCoTaskMem( ppbody );
Marshal. FreeCoTaskMem( buff );

```

3. 2. 34 S7F17 メッセージ – プロセスプログラム削除支持

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS7F17()	S7F17 をエンコードします。	PPID の削除メッセージをエンコードします。
2	DSH_DecodeS7F17()	S7F17 をデコードします。	PPID の削除メッセージをデコードします。
3	DSH_EncodeS7F18()	S7F18 のメッセージをエンコードします。	ack をエンコードします。
4	DSH_DecodeS7F18()	S7F18 のメッセージをデコードします。	ack を取得します。

(2) S7F17 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは、削除したいPPIDが格納されているTPPID_LIST構造体を使用します。

```
typedef struct {
    int      count;
    char     **ppid_list;
} TPPID_LIST;
```

(3) S7F18 のユーザインタフェース情報

ACKC7です。

3. 2. 34. 1 DSH_EncodeS7F17() - S7F17 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F17(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TPPID_LIST *list,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F17(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef list As TPPID_LIST,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F17(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TPPID_LIST list,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F17 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

list : TPPID_LIST 構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F17 メッセージを作成します。
list に設定されている PPID をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
BYTE send_buffer[1000];
int ei;
int msg_len;

char* ppid_list[32] = { "PPID100", "PPID200", "PPID300" };

TPPID_LIST list;

DshInitTPPID_LIST( &list, 3 );
DshPutTPPID_LIST( &list, ppid_list[0] );
DshPutTPPID_LIST( &list, ppid_list[1] );
DshPutTPPID_LIST( &list, ppid_list[2] );

ei = DSH_EncodeS7F17( send_buffer, 1000, &list, &msg_len );
.
.
DshFreeTPPID_LIST( &list );
```

②C#

```
TPPID_LIST list = new TPPID_LIST();
string ppbody = "PPBODY100200300";

IntPtr send_buffer = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
int msg_len = 0;

int PP_COUNT = 3;
string[] ppid_list = { "PPID100", "PPID200", "PPID300" };

DshInitTPPID_LIST(ref list, PP_COUNT);
for (int i = 0; i < PP_COUNT; i++)
{
    DshGemPro.LIB.DshPutTPPID_LIST(ref list, ppid_list[i]);
}
int ei = DSH_EncodeS7F17( send_buffer, 1000, ref list, ref msg_len );
.
.
DshFreeTPPID_LIST( ref list );
Marshal.FreeCoTaskMem(send_buff);
```

3. 2. 34. 2 DSH_DecodeS7F17() - S7F17 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F17(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TPPID_LIST *list
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F17(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef list As TPPID_LIST
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F17(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TPPID_LIST list
);
```

(2) 引数

buffer : S7F17 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F17 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

list : PPID を格納する構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F17 メッセージのデコードを行います。
デコードした PPID 情報は list に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[1000]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S7F17 受信)
int msg_len = 17; // 受信した S7F17 メッセージのバイトサイズ
TPPID_LIST list;
int ei;
ei = DSH_DecodeS7F17( buff, msg_len, &list );
.
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
(S7F17 受信)
int msg_len = 17; // 受信した S7F17 メッセージのバイトサイズ
TPPID_LIST list = new TPPID_LIST();

int ei = DSH_DecodeS7F17( buff, msg_len, ref list );
string pp_id = Marshal. PtrToStringAnsi(ppid);
.
.
Marshal. FreeCoTaskMem(list);
Marshal. FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 34. 3 DSH_EncodeS7F18() - S7F18 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F18(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F18(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ack As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F18(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F18 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ack : ACKC7 です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F18 メッセージを作成します。
S7F18 メッセージに ack をエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

3. 2. 34. 4 DSH_DecodeS7F18() - S7F18 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F18(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *ack
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F18(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ack As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F18(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int ack
);
```

(2) 引数

buffer : S7F18 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。
 msg_len : S7F18 メッセージのバイトサイズです。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)
 ack : ACKC7 格納用です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F18 メッセージのデコードを行います。
 デコードし、ACKC7 を ack に取得します。

3. 2. 35 S7F19 メッセージ – 現在のプロセスプログラム要求

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS7F19()	S7F19 をエンコードします。	現在の PPID (EPPD) 要求をエンコードします。 (Header のみ)
2	DSH_DecodeS7F19()	S7F19 をデコードします。	現在の PPID (EPPD) 要求をデコードします。 (Header のみ)
3	DSH_EncodeS7F20()	S7F20 のメッセージをエンコードします。	現在の PPID リストをエンコードします。
4	DSH_DecodeS7F20()	S7F20 のメッセージをデコードします。	現在の PPID リストをデコードします。

(2) S7F19 のユーザインタフェース情報

Header のみです。

(3) S7F20 のユーザインタフェース情報

TPPID_LIST 構造体を使用します。構造体内に PPID を格納します。

```
typedef struct{
    int      count;
    char     **ppid_list;
} TPPID_LIST;
```

3. 2. 35. 1 DSH_EncodeS7F19() — S7F19 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F19(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F19(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F19(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F19 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F19 メッセージを作成します。(Header のみです)

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。

作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。

もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

3. 2. 35. 2 DSH_DecodeS7F19() - S7F19 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F19(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F19(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F19(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
);
```

(2) 引数

buffer : S7F19 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。
 msg_len : S7F19 メッセージのバイトサイズです。
 (Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F19 メッセージのデコードを行います。
 (Header のみです。)

3. 2. 35. 3 DSH_EncodeS7F20() - S7F20 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F20(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TPPID_LIST *list,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F20(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef list As TPPID_LIST,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F20(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TPPID_LIST list,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F20 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

list : TPPID_LIST 構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F20 メッセージを作成します。
list に設定されている PPID をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```

BYTE send_buffer[1000];
int ei;
int msg_len;

char* ppid_list[32] = { "PPID100", "PPID200", "PPID300" };

TPPID_LIST list;

DshInitTPPID_LIST( &list, 3 );
DshPutTPPID_LIST( &list, ppid_list[0] );
DshPutTPPID_LIST( &list, ppid_list[1] );
DshPutTPPID_LIST( &list, ppid_list[2] );

ei = DSH_EncodeS7F20( send_buffer, 1000, &list, &msg_len );
.
.
DshFreeTPPID_LIST( &list );

```

②C#

```

TPPID_LIST list = new TPPID_LIST();
string ppbody = "PPBODY100200300";

IntPtr send_buffer = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
int msg_len = 0;

int PP_COUNT = 3;
string[] ppid_list = { "PPID100", "PPID200", "PPID300" };

DshInitTPPID_LIST(ref list, PP_COUNT);
for (int i = 0; i < PP_COUNT; i++)
{
    DshGemPro.LIB.DshPutTPPID_LIST(ref list, ppid_list[i]);
}
int ei = DSH_EncodeS7F20( send_buffer, 1000, ref list, ref msg_len );
.
.
DshFreeTPPID_LIST( ref list );
Marshal.FreeCoTaskMem(send_buff);

```

3. 2. 35. 4 DSH_DecodeS7F20() - S7F20 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F20(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TPPID_LIST *list
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F20(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef list As TPPID_LIST
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F20(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TPPID_LIST list
);
```

(2) 引数

buffer : S7F20 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F20 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

list : PPID を格納する構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F20 メッセージのデコードを行います。
デコードした PPID 情報は list に格納します。

3. 2. 36 S7F23 メッセージ – FPP 書式付プロセスプログラム送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS7F23()	S7F23 をエンコードします。	FPP 送信メッセージをエンコードします。
2	DSH_DecodeS7F23()	S7F23 をデコードします。	FPP 送信メッセージをデコードします。
3	DSH_EncodeS7F24()	S7F24 のメッセージをエンコードします。	確認情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS7F24()	S7F24 のメッセージをデコードします。	確認情報を取得します。

(2) S7F23 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しは、TS7F23_INFO 構造体を使って行います。

①FPP 情報を格納する構造体です。API の引数に使用します。

```
typedef struct{
    int      index;
    int      state;
    char     *ppid;
    char     *mdl;
    char     *softrev;
    int      ccode_count;      // # of process commands
    TFPP_CCODE **ccode_list;
}TS7F23_INFO;                // formatted process program
```

②FPP に付属するセクション情報を格納する構造体です。

```
typedef struct{
    int      ccode_fmt;
    int      ccode_size;
    int      max_ccode_size;
    void     *ccode;          // command code
    int      ppara_count;    // # of para count
    TFPP_PARA **ppara_list;
} TFPP_CCODE
```

③FPP のセクション情報に付属する1個分のパラメータを格納する構造体です。

```
typedef struct{
    int      ppara_fmt;
    int      ppara_size;
    int      max_ppara_size;
    void     *ppara;
} TFPP_PARA;
```

(3) TS7F23_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTS7F23_INFO	TS7F23_INFO を初期設定する。
2	DshPutTS7F23_INFO	TS7F23_INFO に 1 個のパラメータを加える。
3	DshFreeTS7F23_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。
4	DshInitTFPP_CC CODE	TFPP_CC CODE を初期設定する。
5	DshPutTFPP_CC CODE	TFPP_CC CODE に 1 個のパラメータ情報を加える。
6	DshFreeTFPP_CC CODE	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

(3) S7F24 のユーザインタフェース情報

情報の引き渡しはプロセスプログラム送信確認 ACK です。

3. 2. 36. 1 DSH_EncodeS7F23() — S7F23 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F23(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TS7F23_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F23(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TS7F23_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F23(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TS7F23_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F23 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : FPP 情報が格納されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F23 メッセージを作成します。
info に格納されている FPP 情報をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```

char* PPID      = "PPID100";
char* MDLN      = "MDLN100";
char* SOFTREV   = "SOFT100";

char* CCODE1    = "CCODE_1";
char* PARA11    = "PARA_1";    // A
uint  PARA12    = 1234;    // U4

char* CCODE2    = "CCODE_2";
char* PARA21    = "PARA_2";    // A

int  msg_len;
TS7F23_INFO info;
TFPP_CCODE  cinfo;

DshInitTS7F23_INFO( &info, PPID, MDLN, SOFTREV, 2 );

DshInitTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_A, CCODE1, 2 );
DshPutTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_A, (void*)PARA11 );
DshPutTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_U4, (void*)&PARA12 );
DshPutTS7F23_INFO( &info, &cinfo );
DshFreeTFPP_CCODE( &cinfo );

DshInitTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_A, CCODE2, 2 );
DshPutTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_A, (void*)PARA21 );
DshPutTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_U4, (void*)&PARA22 );
DshPutTS7F23_INFO( &info, &cinfo );
DshFreeTFPP_CCODE( &cinfo );

ei = DSH_EncodeS7F23( buff, SND_BUFF_SIZE, &info, &msg_len );
.
.

DshFreeTS7F23_INFO( &info );

```

②C#

```

string PPID = "PPID100";
string MDLN = "MDLN100";
string SOFTREV = "SOFT100";

string CCODE1 = "CCODE_1";
string PARA11 = "PARA_1";    // A
uint  PARA12 = 1234;    // U4

string CCODE2 = "CCODE_2";
string PARA21 = "PARA_2";    // A

```

```
uint  PARA22 = 2345;           // U4

int  ei;
int  msg_len = 0;
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(BUFF_SIZE);
TS7F23_INFO info = new TS7F23_INFO();
TFPP_CC_CODE cinfo = new TFPP_CC_CODE();

DshInitTS7F23_INFO( ref info, PPID, MDLN, SOFTREV, 2 );

DshInitTFPP_CC_CODE( ref cinfo, ICODE_A, CCODE1, 2 );
DshPutTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_A, PARA11);
copy_int_to_ptr(int_ptr, (int)PARA12);
DshPutTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_U4, int_ptr);
DshPutTS7F23_INFO( ref info, ref cinfo );
DshFreeTFPP_CC_CODE( ref cinfo );

DshInitTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_A, CCODE2, 2);
DshPutTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_A, PARA21);
copy_int_to_ptr(int_ptr, (int)PARA22);
DshPutTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_U4, int_ptr);
DshPutTS7F23_INFO( ref info, ref cinfo );
DshFreeTFPP_CC_CODE( ref cinfo );

ei = DSH_EncodeS7F23(buff, BUFF_SIZE, ref info, ref msg_len); // encode S7F23
.
.
DshFreeTS7F23_INFO(ref info);
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

(注) copy_int_to_ptr()については、3.2.2.3-(5)-② を参照ください。

3. 2. 36. 2 DSH_DecodeS7F23() - S7F23 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F23(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TS7F23_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F23(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TS7F23_INFO,
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F23(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TS7F23_INFO info,
);
```

(2) 引数

buffer : S7F23 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F23 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : FPP 情報を格納する構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F23 メッセージのデコードを行います。
デコードした FPP 情報は info に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[1000]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。  
(S7F23 受信)
```

```
int msg_len = 63; // 受信した S7F23 メッセージのバイトサイズ  
TS7F23_INFO info;
```

```
int ei;  
ei = DSH_DecodeS7F23( buff, msg_len, &info);
```

.
.

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);  
(S7F23 受信)
```

```
int msg_len = 63; // 受信した S7F23 メッセージのバイトサイズ  
TS7F23_INFO info = new TS7F23_INFO();
```

```
int ei = DSH_DecodeS7F23( buff, msg_len, ref info);
```

.
.

```
DshFreeTS7F23_INFO( ref info );  
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 36. 3 DSH_EncodeS7F24() - S7F24 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F24(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F24(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ack As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F24(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int ack,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F24 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ack : PP 送信確認コードです。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F24 メッセージを作成します。
ack を S7F24 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int  ack = 0;
int  ei;
BYTE buff[100];
int  msg_len;

ei = DSH_EncodeS7F24( buff, 100, ack, &msg_len ); //
.
.
```

②c#

```
int  ack = 0;
int  ei;

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
int  msg_len = 0;

ei = DSH_EncodeS7F24( buff, 100, ack, ref msg_len );//
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 36. 4 DSH_DecodeS7F24() - S7F24 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F24(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *ack
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F24(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ack As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F24(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int ack
);
```

(2) 引数

buffer : S7F24 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F24 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

ack : PP 送信確認コード格納用です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F24 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、ack に格納されます。

3. 2. 37 S7F25 メッセージ – 書式付プロセスプログラム送信

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS7F25()	S7F25 をエンコードします。	FPP 要求メッセージをエンコードします。 (PPID を指定)
2	DSH_DecodeS7F25()	S7F25 をデコードします。	FPP 要求メッセージをデコードします。
3	DSH_EncodeS7F26()	S7F26 のメッセージをエンコードします。	FPP 情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS7F26()	S7F26 のメッセージをデコードします。	FPP 情報を取得します。

(2) S7F25 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは、PPID です。

(3) S7F26 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは、TS7F23_INFO 構造体を使って行います。

①FPP 情報を格納する構造体です。API の引数に使用します。

```
typedef struct{
    int      index;
    int      state;
    char     *ppid;
    char     *mdlIn;
    char     *softrev;
    int      ccode_count;      // # of process commands
    TFPP_CCODE **ccode_list;
}TS7F23 INFO;                // formatted process program
```

②FPP に付属するセクション情報を格納する構造体です。

```
typedef struct{
    int      ccode_fmt;
    int      ccode_size;
    int      max_ccode_size;
    void     *ccode;          // command code
    int      ppara_count;    // # of para count
    TFPP_PARA **ppara_list;
} TFPP_CCODE
```

③FPP のセクション情報に付属する1個分のパラメータを格納する構造体です。

```
typedef struct{
    int      ppara_fmt;
    int      ppara_size;
    int      max_ppara_size;
    void     *ppara;
} TFPP_PARA;
```

(4) TS7F23_INFO 構造体への情報設定処理関連関数

C/C++ 言語用ヘッダファイルは、DshGemProLib.h でプロトタイプが定義されています。

.Net 言語では、DshGemProLib.cs, DshGemProLib.vb

番号	関数名	機能
1	DshInitTS7F23_INFO	TS7F23_INFO を初期設定する。
2	DshPutTS7F23_INFO	TS7F23_INFO に 1 個のパラメータを加える。
3	DshFreeTS7F23_INFO	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。
4	DshInitTFPP_CC CODE	TFPP_CC CODE を初期設定する。
5	DshPutTFPP_CC CODE	TFPP_CC CODE に 1 個のパラメータ情報を加える。
6	DshFreeTFPP_CC CODE	使用后、構造体内で使用したヒープメモリを解放する。

3. 2. 37. 1 DSH_EncodeS7F25() — S7F25 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F25(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    char *ppid,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F25(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ppid As String,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F25(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    string ppid,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F25 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ppid : PPID(書式付プロセッサプログラム ID)です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F25 メッセージを作成します。
ppid をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
char *ppid = "PPID1000";
```

```
BYTE send_buffer[128];
```

```
int ei;
```

```
int msg_len;
```

```
ei = DSH_EncodeS7F25( send_buffer, 128, ppid, &msg_len );
```

```
.
```

```
.
```

②C#

```
string ppid = "PPID1000";
```

```
IntPtr send_buffer = Marshal. AllocCoTaskMem(128);
```

```
int msg_len = 0;
```

```
int ei = DSH_EncodeS7F25( send_buffer, 128, ppid, ref msg_len );
```

```
.
```

```
.
```

```
Marshal.FreeCoTaskMem(send_buff);
```

3. 2. 37. 2 DSH_DecodeS7F25() - S7F25 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F25(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    char *ppid
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F25(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ppid As String
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F25(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref IntPtr ppid
);
```

(2) 引数

buffer : S7F25 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F25 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

ppid : プロセスプログラム ID 格納です。(PPID に必要な十分の領域を準備してください)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F25 メッセージのデコードを行います。
デコードした PPID は ppid に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[1000];          // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S7F25 受信)
int msg_len = 17;        // 受信した S7F25 メッセージのバイトサイズ
char ppid[128];
int ei;
ei = DSH_DecodeS7F25( buff, msg_len, ppid );
.
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
(S7F25 受信)
int msg_len = 17;        // 受信した S7F25 メッセージのバイトサイズ
IntPtr ppid = Marshal. AllocCoTasmMem(128);

int ei = DSH_DecodeS7F25( buff, msg_len, ppid );
string pp_id = Marshal. PtrToStringAnsi(ppid);
.
.
Marshal. FreeCoTaskMem(ppid);
Marshal. FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 37. 3 DSH_EncodeS7F26() - S7F26 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F26(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    TS7F23_INFO *info,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F26(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ByRef info As TS7F23_INFO,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F26(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    ref TS7F23_INFO info,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F26 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

info : FPP 情報が格納されている構造体です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F26 メッセージを作成します。
info に格納されている FPP 情報を S7F26 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```

char* PPID      = "PPID100";
char* MDLN     = "MDLN100";
char* SOFTREV  = "SOFT100";

char* CCODE1   = "CCODE_1";
char* PARA11  = "PARA_1";    // A
uint  PARA12  = 1234;      // U4

char* CCODE2   = "CCODE_2";
char* PARA21  = "PARA_2";    // A

int  msg_len;
TS7F23_INFO info;
TFPP_CCODE  cinfo;

DshInitTS7F23_INFO( &info, PPID, MDLN, SOFTREV, 2 );

DshInitTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_A, CCODE1, 2 );
DshPutTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_A, (void*)PARA11 );
DshPutTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_U4, (void*)&PARA12 );
DshPutTS7F23_INFO( &info, &cinfo );
DshFreeTFPP_CCODE( &cinfo );

DshInitTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_A, CCODE2, 2 );
DshPutTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_A, (void*)PARA21 );
DshPutTFPP_CCODE( &cinfo, ICODE_U4, (void*)&PARA22 );
DshPutTS7F23_INFO( &info, &cinfo );
DshFreeTFPP_CCODE( &cinfo );

ei = DSH_EncodeS7F26( buff, SND_BUFF_SIZE, &info, &msg_len );
.
.

DshFreeTS7F23_INFO( &info );

```

②c#

```

string PPID = "PPID100";
string MDLN = "MDLN100";
string SOFTREV = "SOFT100";

string CCODE1 = "CCODE_1";
string PARA11 = "PARA_1";    // A
uint  PARA12 = 1234;        // U4

string CCODE2 = "CCODE_2";
string PARA21 = "PARA_2";    // A

```

```
uint  PARA22 = 2345;          // U4

int  ei;
int  msg_len = 0;
IntPtr buff = Marshal.AllocCoTaskMem(BUFF_SIZE);
TS7F23_INFO info = new TS7F23_INFO();
TFPP_CC_CODE cinfo = new TFPP_CC_CODE();

DshInitTS7F23_INFO( ref info, PPID, MDLN, SOFTREV, 2 );

DshInitTFPP_CC_CODE( ref cinfo, ICODE_A, CCODE1, 2 );
DshPutTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_A, PARA11);
copy_int_to_ptr(int_ptr, (int)PARA12);
DshPutTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_U4, int_ptr);
DshPutTS7F23_INFO( ref info, ref cinfo );
DshFreeTFPP_CC_CODE( ref cinfo );

DshInitTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_A, CCODE2, 2);
DshPutTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_A, PARA21);
copy_int_to_ptr(int_ptr, (int)PARA22);
DshPutTFPP_CC_CODE(ref cinfo, ICODE_U4, int_ptr);
DshPutTS7F23_INFO( ref info, ref cinfo );
DshFreeTFPP_CC_CODE( ref cinfo );

ei = DSH_EncodeS7F26(buff, BUFF_SIZE, ref info, ref msg_len);    // encode S7F23
.
.
DshFreeTS7F23_INFO(ref info);
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

(注) copy_int_to_ptr()については、3.2.2.3-(5)-② を参照ください。

3. 2. 37. 4 DSH_DecodeS7F26() - S7F26 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F26(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    TS7F23_INFO *info
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F26(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef info As TS7F23_INFO
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F26(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref TS7F23_INFO info,
    ref IntPtr ppbody
);
```

(2) 引数

buffer : S7F26 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F26 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

info : FPP 情報を格納するための構造体です。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F26 メッセージのデコードを行います。
デコードした PPID、PPBODY はそれぞれ、ppid、ppbody に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[1000]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S7F23 受信)

int msg_len = 63; // 受信した S7F23 メッセージのバイトサイズ
TS7F23_INFO info;

int ei;
ei = DSH_DecodeS7F23( buff, msg_len, &info);
.
.
```

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);
(S7F23 受信)

int msg_len = 63; // 受信した S7F23 メッセージのバイトサイズ
TS7F23_INFO info = new TS7F23_INFO();

int ei = DSH_DecodeS7F23( buff, msg_len, ref info);
.
.
DshFreeTS7F23_INFO( ref info );
Marshal. FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 38 S7F29 メッセージ – プロセスプログラム妥当性の問合せ

(1) 下表に示す4種類の関数があります。

	関数名	機能	備考
1	DSH_EncodeS7F29()	S7F29 をエンコードします。	PP 妥当性問合せメッセージをエンコードします。
2	DSH_DecodeS7F29()	S7F29 をデコードします。	PP 妥当性問合せメッセージをデコードします。
3	DSH_EncodeS7F30()	S7F30 のメッセージをエンコードします。	妥当性許可情報をエンコードします。
4	DSH_DecodeS7F30()	S7F30 のメッセージをデコードします。	妥当性許可情報を取得します。

(2) S7F29 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは、LENGTH 長さ情報です。

(3) S7F30 のユーザインタフェース情報
情報の引き渡しは PPGNT 妥当性コードです。(=ACK の意味)

3. 2. 38. 1 DSH_EncodeS7F29() - S7F29 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F29(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int length,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F29(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    length As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F29(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int length,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F29 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

length : 妥当性確認 LENGTH です。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F29 メッセージを作成します。
length をメッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int length = 64;

BYTE buff[100];
int ei;
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS7F29( buff, 100, length, &msg_len );
.
.
```

②C#

```
string ppid = "PPID1000";
int length = 64;

IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(100);
int msg_len = 0;
int ei = DSH_EncodeS7F29( buff, 100, length, ref msg_len );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 38. 2 DSH_DecodeS7F29() - S7F29 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F29(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *length
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F29(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef length As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F29(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int length
);
```

(2) 引数

buffer : S7F29 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F29 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

length : 妥当性を問い合わせる LENGTH を格納する領域のポインタです。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F29 メッセージのデコードを行います。
デコードした LENGTH 値は length に格納します。

(5) 例

①c、C++

```
BYTE buff[1000]; // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。  
(S7F29 受信)  
int msg_len = 6; // 受信した S7F29 メッセージのバイトサイズ  
int length;  
int ei;
```

```
ei = DSH_DecodeS7F29( buff, msg_len, ppid, &length );
```

.
.

②C#

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(1000);  
(S7F29 受信)  
int msg_len = 6; // 受信した S7F29 メッセージのバイトサイズ  
uint length = 0;
```

```
int ei = DSH_DecodeS7F29( buff, msg_len, ref length);
```

.
.

```
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 38. 3 DSH_EncodeS7F30() - S7F30 のエンコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_EncodeS7F30(
    BYTE *buffer,
    int buff_size,
    int ppgnt,
    int *msg_len
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_EncodeS7F30(
    buffer As IntPtr,
    buff_size As Integer,
    ppgnt As Integer,
    ByRef msg_len As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_EncodeS7F30(
    IntPtr buffer,
    int buff_size,
    int ppgnt,
    ref int msg_len
);
```

(2) 引数

buffer : S7F30 メッセージデータ格納用メモリのポインタです。

buff_size : buffer で示すメモリのバイトサイズを指定します。

ppgnt : ワード許可コードです。

msg_len : エンコードしたメッセージのバイトサイズを格納します。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にエンコードできた。
(-1)	バッファのサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに S7F30 メッセージを作成します。
ppgnt を S7F30 メッセージにエンコードします。

作成したメッセージのバイトサイズを msg_len に設定し、返却します。
作成したメッセージのバイトサイズが buff_size 以内であれば、0 を返却します。
もし、メッセージが buff_size に入りきらなかった場合は、(-1) を返却します。

(5) 例

①C/C++

```
int ppgnt = 0;
int ei;
BYTE buff[1000];
int msg_len;

ei = DSH_EncodeS7F30( buff, 100, ppgnt, &msg_len ); //
.
.
```

②c#

```
int ppgnt = 0;
int ei;
int msg_len = 0;

ei = DSH_EncodeS7F30( buff, 1000, ppgnt, ref msg_len ); //
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```

3. 2. 38. 4 DSH_DecodeS7F30() - S7F30 のデコード

(1) 呼出書式

[C/C++]

```
API int APIX DSH_DecodeS7F30(
    BYTE *buffer,
    int msg_len,
    int *ppgnt
);
```

[VB. Net]

```
Function DSH_DecodeS7F30(
    buffer As IntPtr,
    msg_len As Integer,
    ByRef ppgnt As Integer
) As Integer
```

[C#]

```
int DSH_DecodeS7F30(
    IntPtr buffer,
    int msg_len,
    ref int ppgnt
);
```

(2) 引数

buffer : S7F30 メッセージデータが格納されているメモリのポインタです。

msg_len : S7F30 メッセージのバイトサイズです。
(Header を含む場合は Header + Text の合計サイズになります。)

ppgnt : 戻り許可コードです。

(3) 戻り値

戻り値	意味
0	正常にデコードできた。
(-1)	バッファサイズが不足していた。

(4) 説明

buffer で指定されたバッファに格納されている S7F30 メッセージのデコードを行います。
デコード結果は、ppgnt に格納されます。

(5) 例

① c、C++

```
BYTE buffer[100];           // ここにデコード対象のメッセージが格納されているとします。
(S7F30 受信)
int msg_len = 3;           // 受信した S7F30 メッセージのバイトサイズ

int ppnt;
int ei;

ei = DSH_DecodeS7F30( buffer, msg_len, &ppnt );
.
.
```

②c #

```
IntPtr buff = Marshal. AllocCoTaskMem(2000);
(S7F30 受信)
int msg_len = 3;           // 受信した S7F30 メッセージのバイトサイズ

int ppnt =0 ;

int ei = DSH_DecodeS7F30( buff, msg_len, ref ppnt );
.
.
Marshal.FreeCoTaskMem(buff);
```